

世界が 懸念 していること

2025年10月

目次

1

まとめ

2

各国が進む方向

3

懸念スポットライト:
気候変動

4

国別スポットライト:
ブラジル

5

世界の懸念事項:
全リスト

6

世界の懸念:
長期的トレンド

7

経済フォーカス

8

調査手法

世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界30か国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

調査結果のさらなる分析は、
www.ipsos.com
でもご覧いただけます。

詳細については、
Joseph.Nadler@ipsos.com
までお問い合わせください。

=Report_1175

まとめ

01. フランスの悲観度、これまでで最も高い水準に

先月、フランスでは「国が正しい方向に向かっている」と答えた人がわずか9%となり、10年ぶりの節目を迎えました。

しかし、[全国的なストライキ](#)が続く中、フランスの楽観度は9月のスコアからわずかに低下し、8%となり、これまでの記録を破りました。なお、実査は[ルコルニエ首相の辞任](#)前に終了しました。

同様に、経済が「良い」と考える人の割合も先月からわずかに減少し、わずか9%となりました。しかし、これは画期的なものではなく、2025年8月も9%を記録しています。

フランスにおける国民の意識の詳細については、当社の新しい「[French Fractures](#)」レポートをご覧ください。

02. インフレ懸念が低下する一方、失業懸念は上昇

今月、インフレへの懸念は30か国で30%のままです。しかし、2023年2月のピークと比較すると13ポイント低下しました。12か月前と比較すると、30か国のうち22か国で懸念が減少していることがわかります。

一方、失業に対する懸念は高まっているようです。2024年10月以降、すべての国で雇用を回答する割合が数ポイント増加しました。15か国で何らかの形で不安の増加が見られました。

03. 過激思想の台頭への懸念が高まる

過激思想の台頭は、11ポイント増加してオランダ人の最大の懸念事項(33%)となり、6年ぶりの高水準に達しました。

[ロンドンで最大規模の極右デモが行われた](#)後に、英国での懸念も高まり、9ポイント上昇して23%となり、2018年以来の最高値となりました。

フランスとスペインでも不安が高まっており、オーストラリア、韓国、米国でも同様に不安が高まっています。

世界が懸念していること 2025年10月

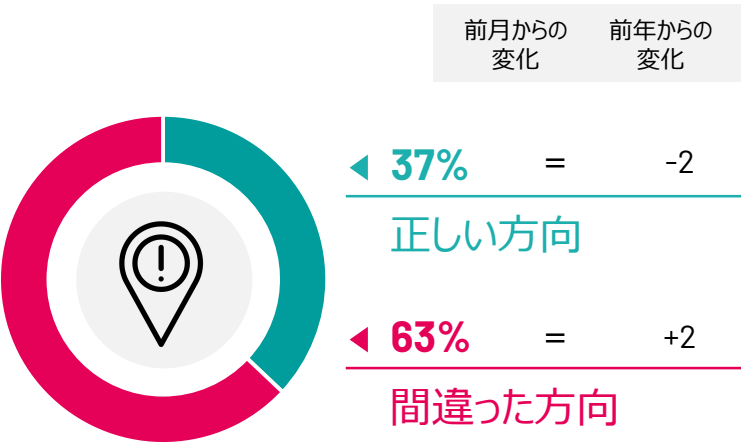
最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

		前月からの 変化	前年からの 変化
犯罪と暴力	33%	+1	+1
インフレ	30%	=	-2
失業率と雇用	28%	=	+2
貧困と社会的不平等	28%	-1	=
汚職、経済的・政治的スキャンダル	27%	-1	+2

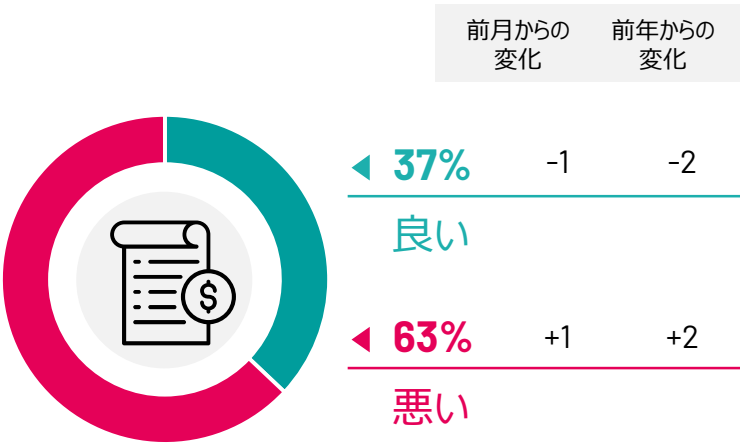
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



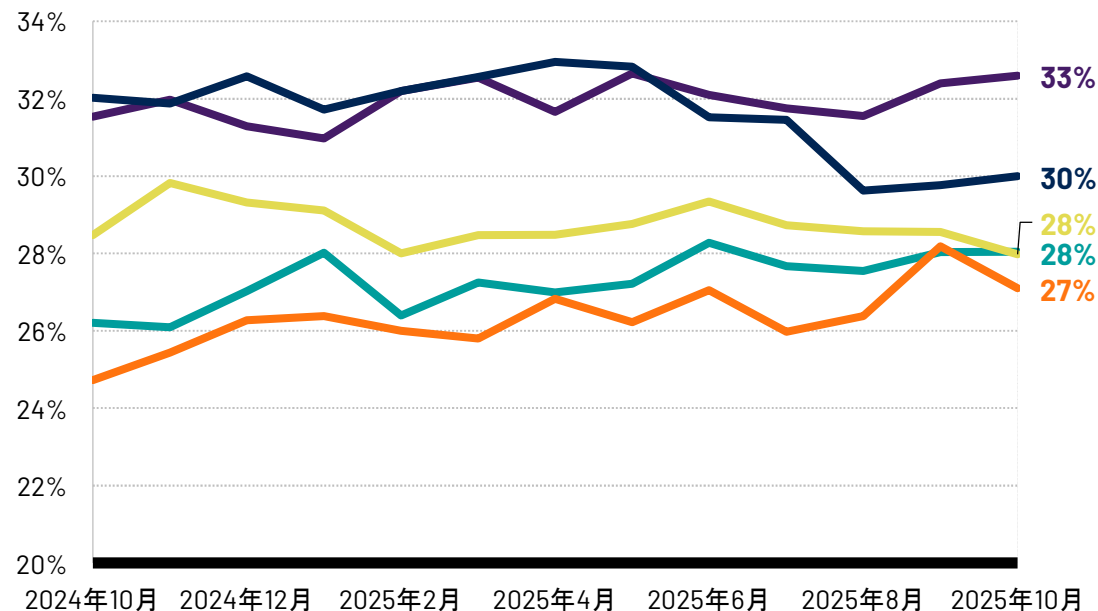
対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月



世界が懸念していること 12か月間のトレンド

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



犯罪

インフレ

失業

不平等

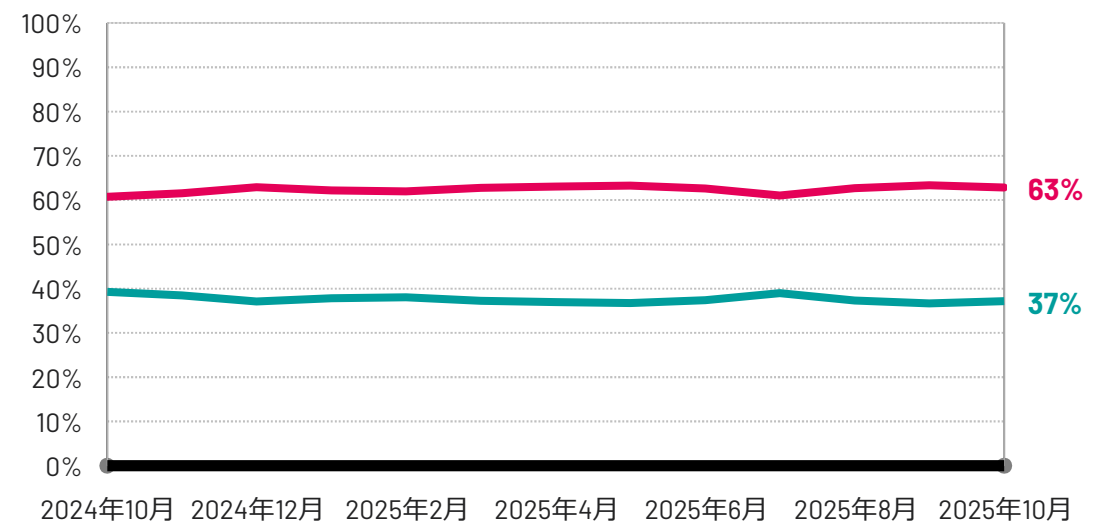
汚職

対象: 2025年9月19日~2025年10月3日、参加30か国の16~74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。

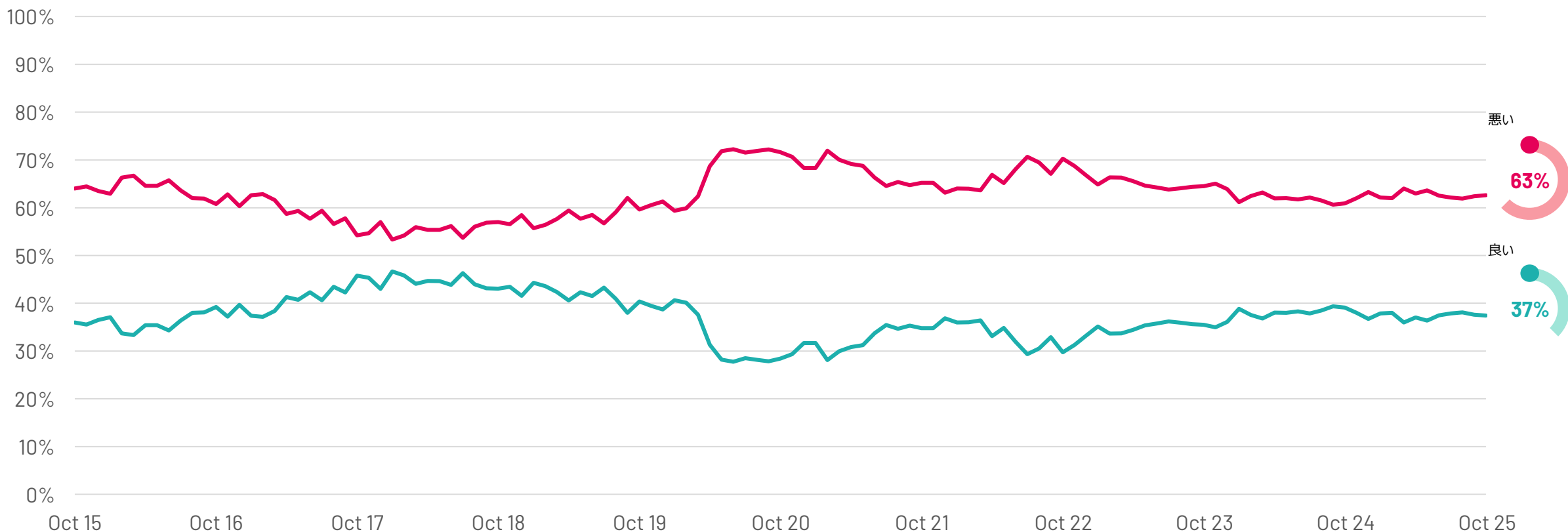


正しい方向

間違った方向

世界経済の現状

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の割合)



対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

各国が進む方向

全対象国

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体で、自国が「正しい方向に向かっている」と答えた人の割合は37%のままです。

フランスでは[全国的なストライキ](#)により楽観度が過去最低を記録しました。先月、国が正しい方向に進んでいると答えた人の割合は9%で、この10年間で最低のスコアでした。今年10月、フランスの水準はさらに低下し、8%となり、10年ぶりの節目を迎えました。なお、[ルコルニュ首相](#)は今月の実査終了後に辞任しました。

一方、英国では、国が正しい方向に向かっていると考える人の割合が3ポイント低下して27%となり、総選挙前の2024年3月(21%)以来の最

低となりました。

同様に、カナダのスコアは今月4ポイント下がり、楽観的な見方を示したのは5分の2(40%)となりました。しかし、これは4月にカーニー首相が選出された後に楽観的な見方が高まった後のことである可能性があります。

8%

のフランス人が国が「正しい方向に向かっている」と回答しています。

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か
国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

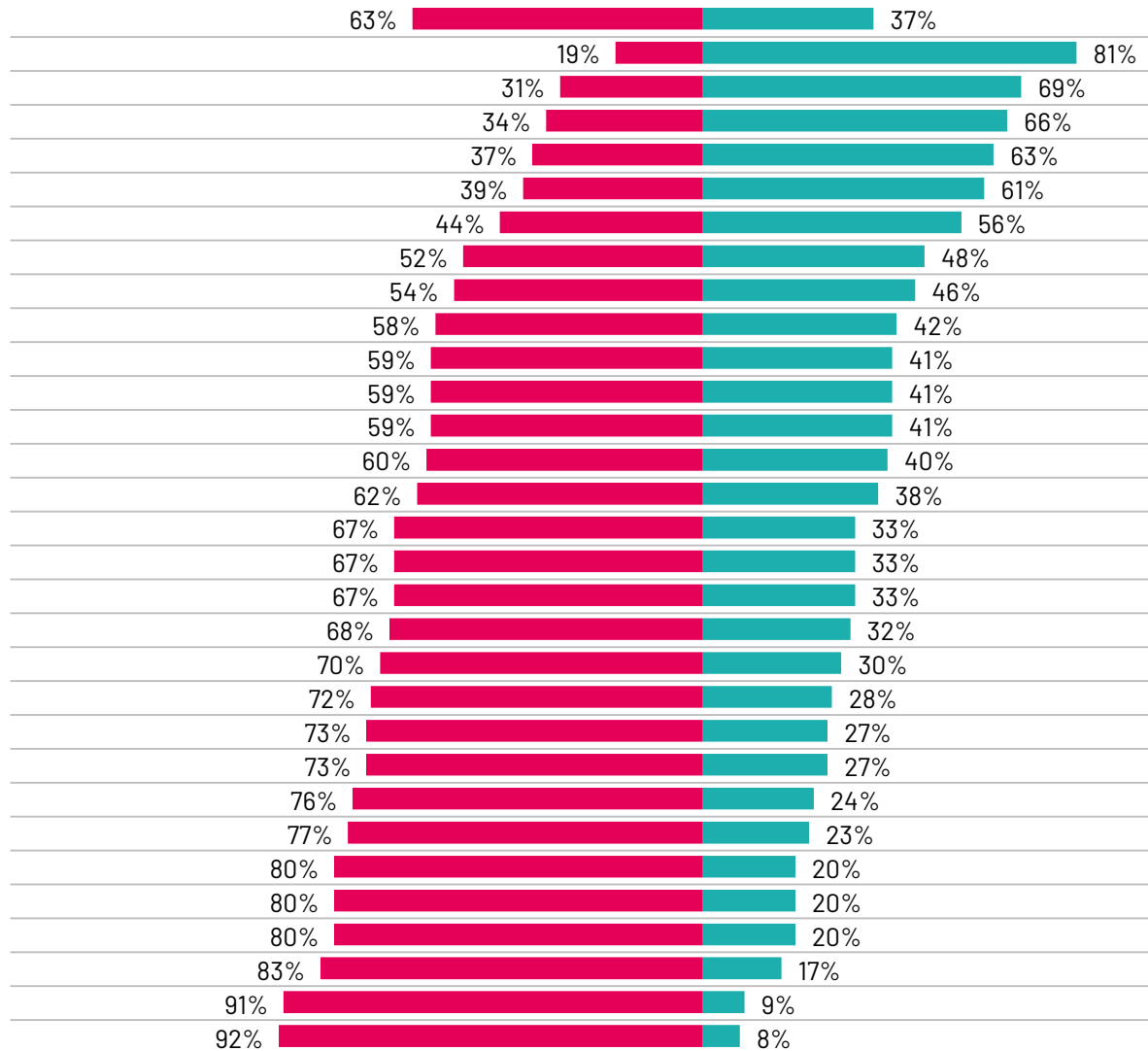
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルス
コアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

世界
シンガポール
マレーシア
インド
インドネシア
韓国
タイ
オーストラリア
アルゼンチン
ポーランド
アイルランド
メキシコ
ブラジル
カナダ
米国
イスラエル
コロンビア
スペイン
チリ
ベルギー
スウェーデン
英国
イタリア
トルコ
ドイツ
南アフリカ
日本
ハンガリー
オランダ
ペルー
フランス

Q: この国は正しい方向に向かっていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか? (2025年10月)



正しい方向

間違った方向

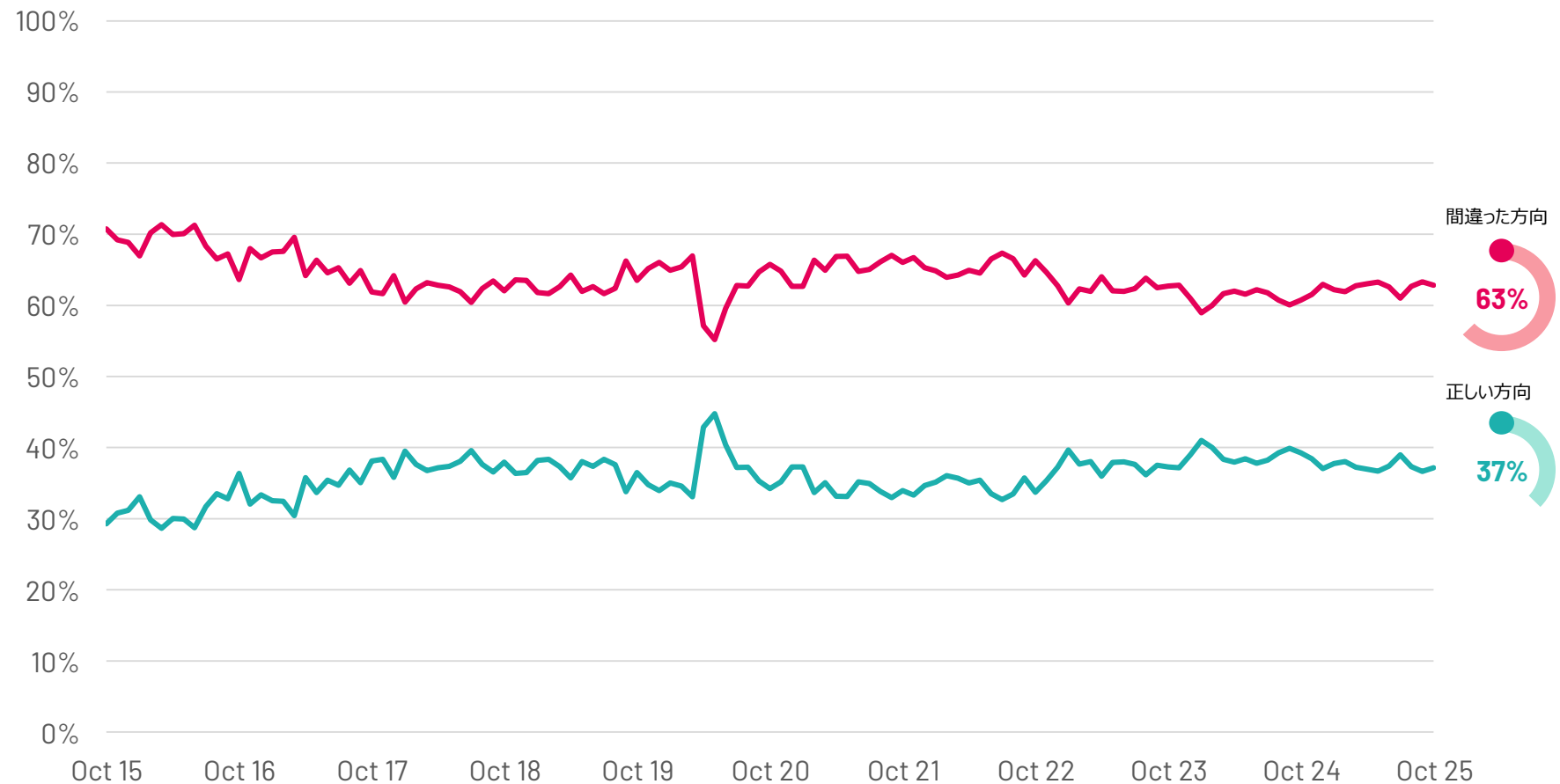
世界の正しい/ 間違った方向

世界各国の平均スコア

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: この国は正しい方向に向かっていてと思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか?



国別スポットライト: ブラジル

スポットライト: ブラジル

対象: 16〜74歳のブラジル人の代表サンプル。毎月1,000人。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: ブラジル | 現在のウェーブ: 2025年10月

他のラテンアメリカ諸国と同様に、犯罪と暴力はブラジル人にとって最大の懸念事項であり、今月は5分の2(40%)が懸念を表明しています。これは18か月間、最大の懸念事項となっており、2020年2月(47%)以来、2025年4月と2024年5月はともに46%と最高スコアを記録しました。

ブラジルは犯罪と暴力が最も多いものの、他のラテンアメリカ諸国と比較すると懸念のレベルはまだ比較的低いです。むしろ、汚職、経済的または政治的スキャンダルに対する懸念が高まっています。今月、汚職は国家が直面する最大の課題の一つであると回答した人は39%に上り、こ

れは昨年10月より14ポイント上昇し、2020年6月(同じく39%)以来の最高値となりました。今年8月から9月にかけて5ポイント急上昇しましたが、これはジャイル・ボルソナーロ前大統領が2023年初頭に[軍事クーデター未遂の罪で懲役27年の判決を受けたこと](#)、そして連邦警察が組織犯罪と年金制度における詐欺行為に対する大規模な捜査を開始したことと重なっています。

次ページへ続く

39%

のブラジル人が、汚職、経済的または政治的スキャンダルを国が直面する最大の課題の一つに挙げています。

スポットライト: ブラジル

対象: 16〜74歳のブラジル人の代表サンプル。毎月1,000人。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: ブラジル | 現在のウェブ: 2025年10月

そうは言っても、2022年の選挙でルーラ・ダ・シルヴァ氏が[ジャイル・ボルソナーロ氏](#)を破った後、ブラジル国民が「国は正しい方向に向かっている」と信じるようになったのは歴史的な変化でした。スコアは、2022年11月の34%から2023年2月の55%に上昇しました。2023年7月には、過去10年間で最高の正しい方向スコア(60%)を記録しました。選挙後の楽観的な見方は落ち着き、物事は正しい方向に進んでいると答えた人は41%となっています。

Priscilla Branco, Director, Ipsos in Brazil:

「正しい方向/間違った方向を示す指標は、国民の経済認識を密接に反映しています。『飢餓と貧困との闘い』などの分野では政府への支持は向上しているものの、経済に対する国民の感情は依然として概ね否定的です。政府は所得税免除に関する新たな法律を可決しましたが、その効果は来年になって初めて実感されるでしょう。一方、8月に低下していたインフレ率は9月にわずかに上昇し、国民の経済認識の悪化を助長しています。」



Priscilla Branco, Director,
Ipsos in Brazil

Contact:

Priscilla.Branco@ipsos.com

ブラジルサマリー：2025年10月

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

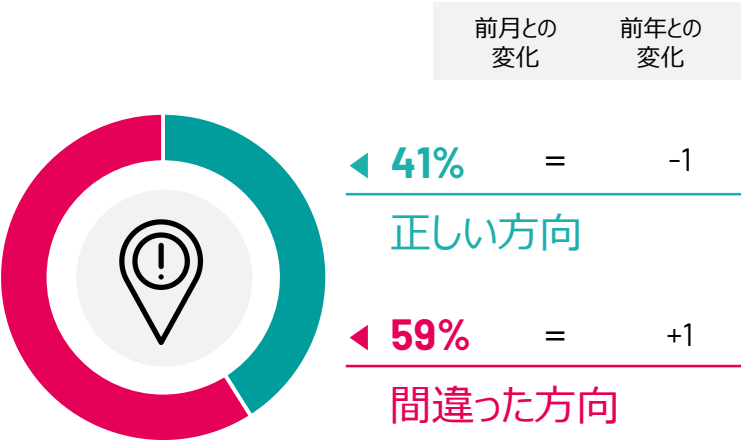
		前月との 変化	前年との 変化
犯罪と暴力	40%	-3	-1
汚職、経済的・政治的スキャンダル	39%	+1	+14
医療	33%	=	-6
貧困と社会的不平等	33%	-1	+2
課税	29%	+1	+9

対象: 16〜74歳のブラジル人の代表サンプル。毎月1,000人。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: ブラジル | 現在のウェブ: 2025年10月

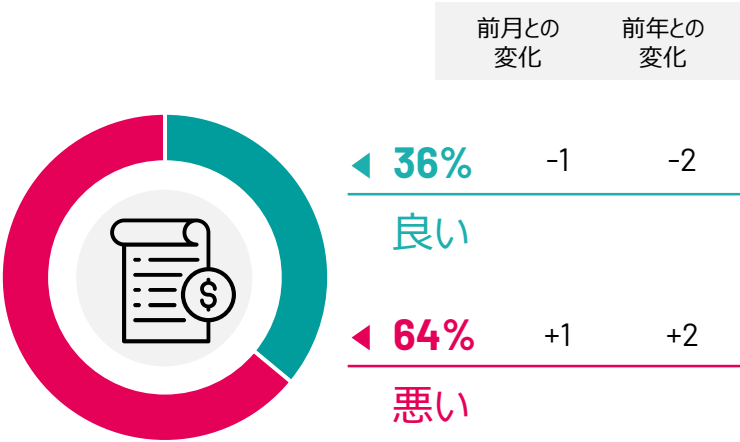
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



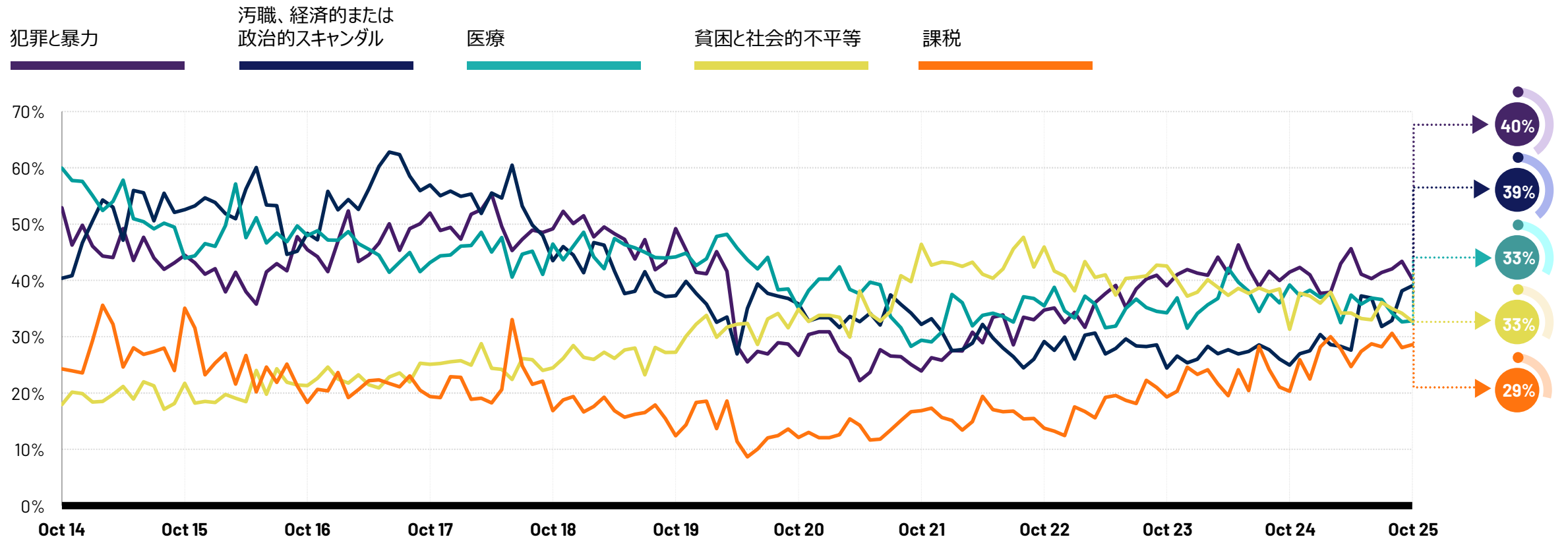
経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



ブラジルの現在の5つの懸念事項: 長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



対象: 16〜74歳のブラジル人の代表サンプル。毎月1,000人。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: ブラジル | 現在のウェブ: 2025年10月

懸念スポットライト: 気候変動



スポットライト: 気候変動

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

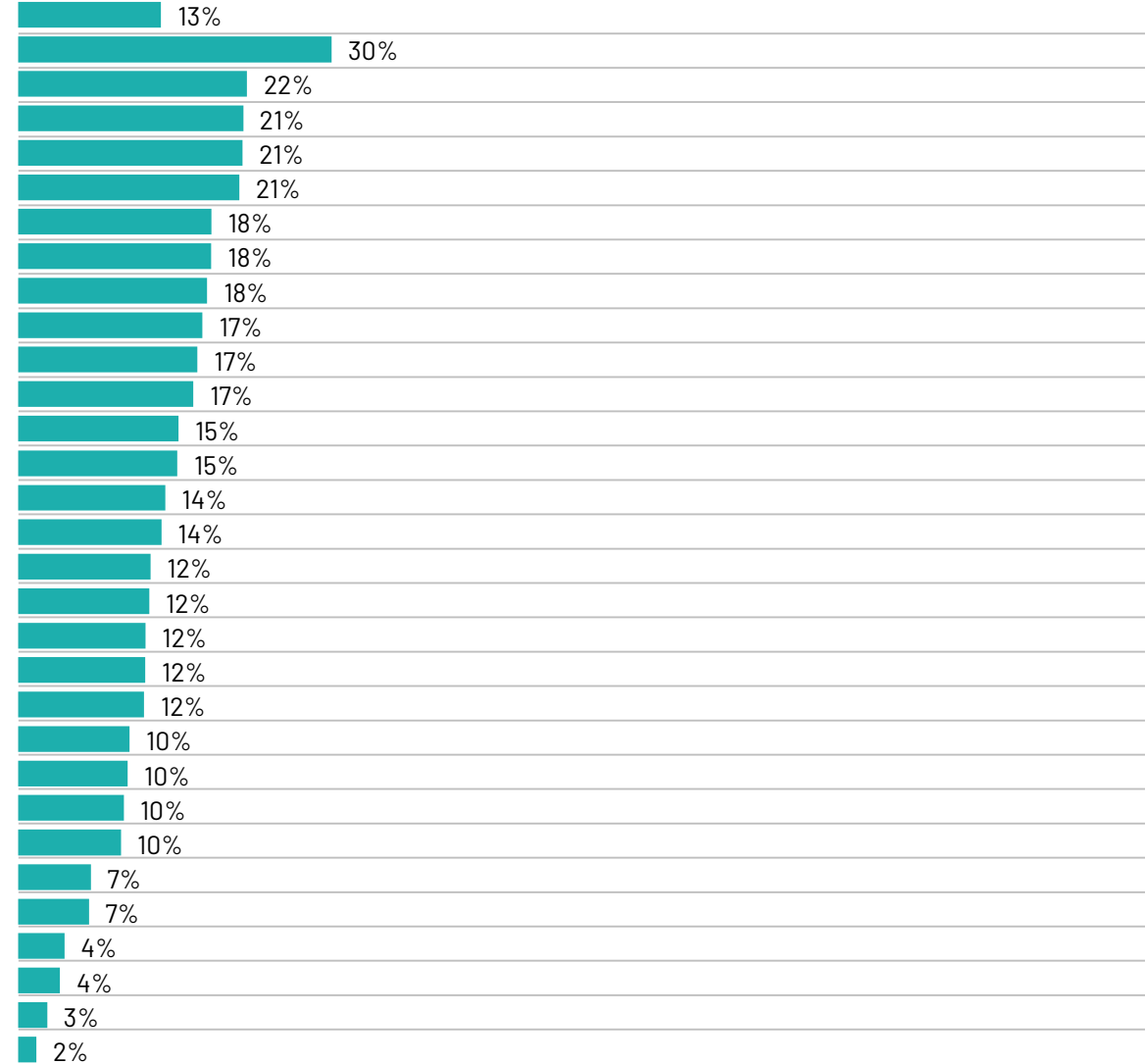
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

気候変動を懸念事項として選んだ人の割合

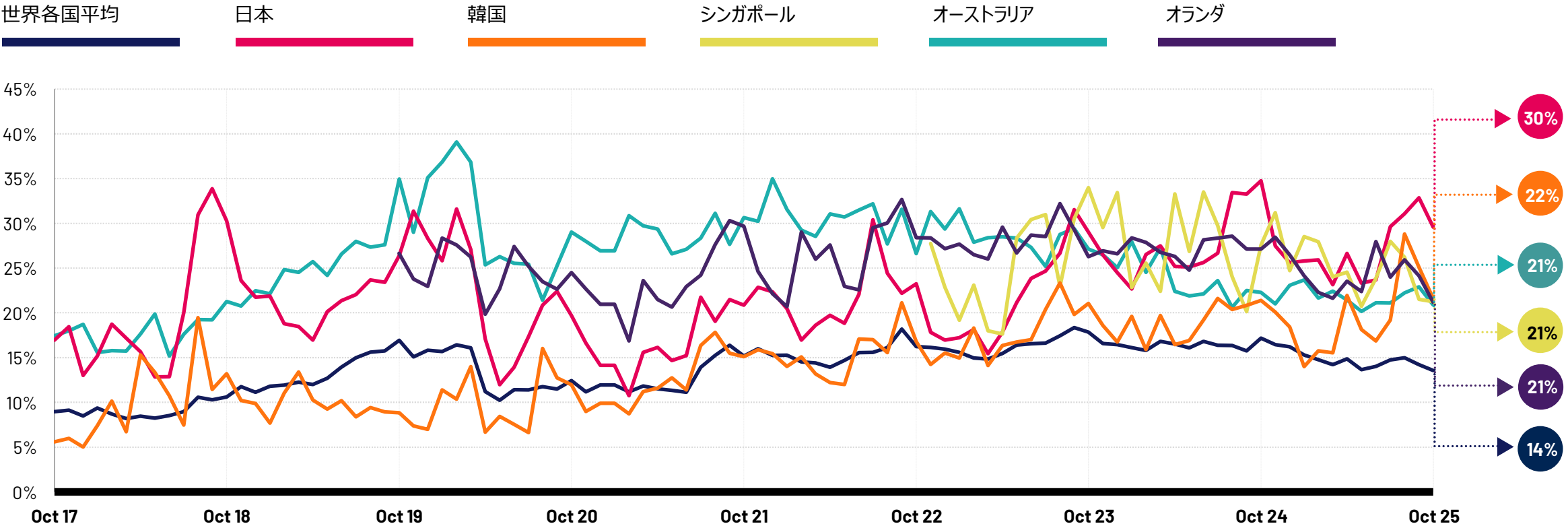
世界
日本
韓国
シンガポール
オランダ
オーストラリア
カナダ
イタリア
ドイツ
タイ
ポーランド
フランス
英国
スペイン
アイルランド
スウェーデン
ベルギー
ブラジル
メキシコ
米国
トルコ
インドネシア
マレーシア
南アフリカ
インド
ハンガリー
コロンビア
ペルー
チリ
アルゼンチン
イスラエル



前月からの 変化	12か月間の 変化
-1	-4
-3	-5
-3	+1
-1	-7
-3	-6
-2	-1
-5	-3
-1	-7
-1	-6
+2	-9
+1	+3
-1	-4
-5	-6
-3	-2
-1	-2
-2	-5
-2	-8
+3	-9
-1	-5
-3	-11
-1	+3
+4	-5
+3	-1
+5	-3
+2	+1
+1	=
-1	-12
-3	-3
-1	-2
=	-2
-1	+1

気候変動の長期的トレンド: 最も懸念する上位5か国

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月



スポットライト: 気候変動

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

11月10日にブラジルでCOP30が始まるにあたり、私たちは気候変動を懸念しています。

世界各国の平均では、気候変動に対する懸念は比較的低く、今月は気候変動に言及した人の割合はわずかに減少して13%となりました。過去10年間の最高スコアは18%で、2023年9月と2024年9月に記録されました。

アジア諸国は一般的に他の国々よりも懸念を抱いており、今月の上位5か国のうち4か国がこの地域の国となっています。

特に日本は心配しており、10月には

10人中3人(30%)が懸念を表明しています。これにより、気候変動は不平等(31%)に次いで2番目に高い懸念事項となりました。[1898年以降で最も暑かった](#)2024年10月には、35%が言及し、8年間で最高水準となりました。

次ページへ続く

13%

(30か国平均)が、気候変動が自国が現在直面している主要な課題の一つであると答えています。

スポットライト: 気候変動

地球の気温が上昇しているにもかかわらず、懸念は比較的落ち着いているようです。当社の最近の「[人類と気候変動](#)」レポートによると、32か国の64%が、個人が気候変動と闘うために今すぐ行動を起こさなければ、将来の世代に失望を与えることになるだろうと同意しています。しかし、その感情は低下しており、ほとんどの先進国で最大の落ち込みが見られました。

多くの国々は、気候変動と闘うためにすでにあまりにも多くの犠牲を払っていると感じています。

気候変動は、将来起こる問題として認識されており、犯罪、移民、軍

事紛争といったより差し迫った懸念の方が重要視されがちです。

しかし、最新の[アクサイプス「フューチャーリスクレポート」](#)によると、気候変動は専門家と一般の人々の間で最大の将来リスクと考えられています。

今年のグローバルアドバイザー調査で、[COPに対する最新の認識と期待](#)をご覧ください。

64%

(32か国平均)が、気候変動と戦うために個人が今行動を起こさなければ、将来の世代に失望を与えることになるだろうと同意しています。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

長期的トレンドを見ると、行動する必要性を感じる人は減少していることがわかる

2021年に調査が行われたすべての国において、2025年には個人が行動する必要があると答える人が減少しています。世界で最も先進的な経済国のいくつかでは、最大の落ち込みが見られました。

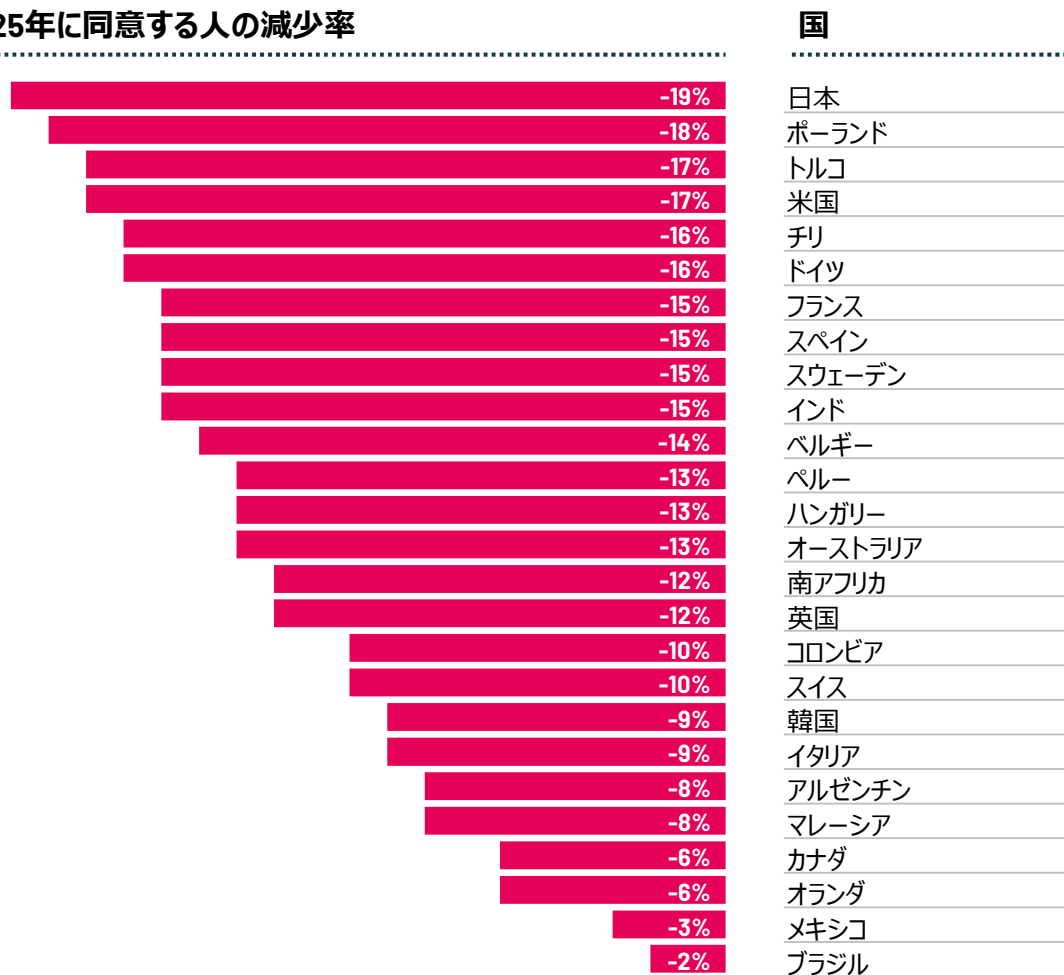


対象: 2025年1月24日から2月7日の間に調査を受けた、32か国の75歳未満の成人23,745人。

出典: People & Climate Change 2025

Q: 私のような個人が、今すぐ気候変動に対処する行動を取らなければ、次世代の期待を裏切ることになる 2021年から2025年にかけての同意率(NET)の変化

2025年に同意する人の減少率



多くの国は、気候変動と戦うためにすでに多くの犠牲を払っていると考えています。

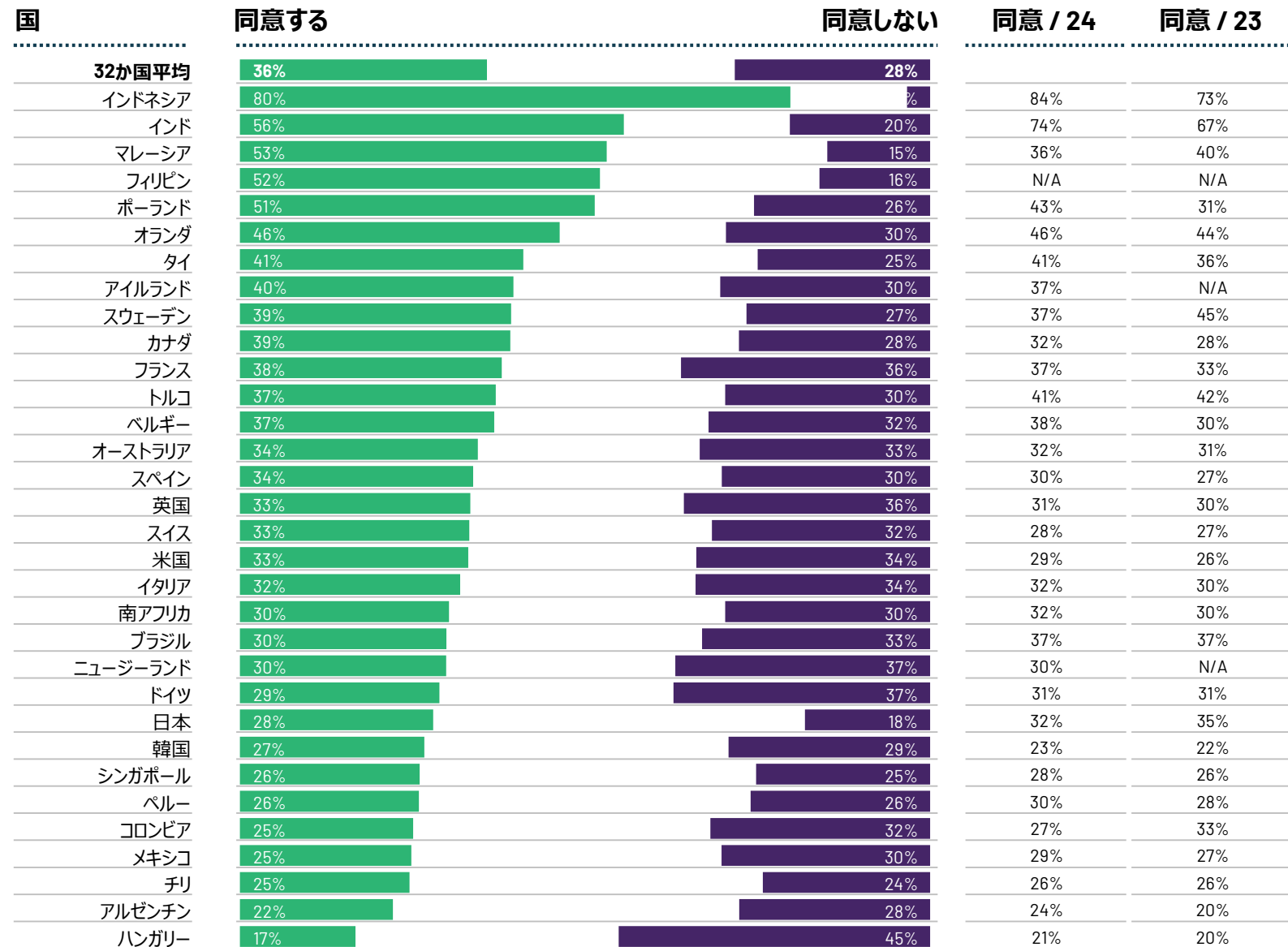
Q: 次の記述について、どの程度同意しますか？

自国に要求されている気候変動に対処するための犠牲は多すぎる



対象: 2025年1月24日から2月7日の間に調査を受けた、32か国の75歳未満の成人23,745人。

出典: People & Climate Change 2025



世界が懸念していることは？

ランキング上位の懸念事項

世界の懸念事項: 全リスト

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

30か国全体で、犯罪と暴力に言及する割合は3分の1(33%)にとどまっています。すでに4か月間トップを維持しています。一方、インフレは10人中3人(30%)が選択しており、安定しています。

過去12か月間で、失業(28%)と汚職は数ポイント上昇しましたが、不平等は28%で安定しています。

国家間の軍事的対立を懸念する人の割合は2ポイントほど増加して13%となり、11位から10位に上昇しました。これはヨーロッパと米国全土で懸念が高まった後のことです。

同様に、過激主義の高まりに対す

る懸念はヨーロッパと米国でも高まり、11%がこれを選択、13位から12位に上昇しました。

33%

(30か国平均)が、犯罪や暴力が心配だと答えています。

世界の懸念事項： 全リスト

対象：2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

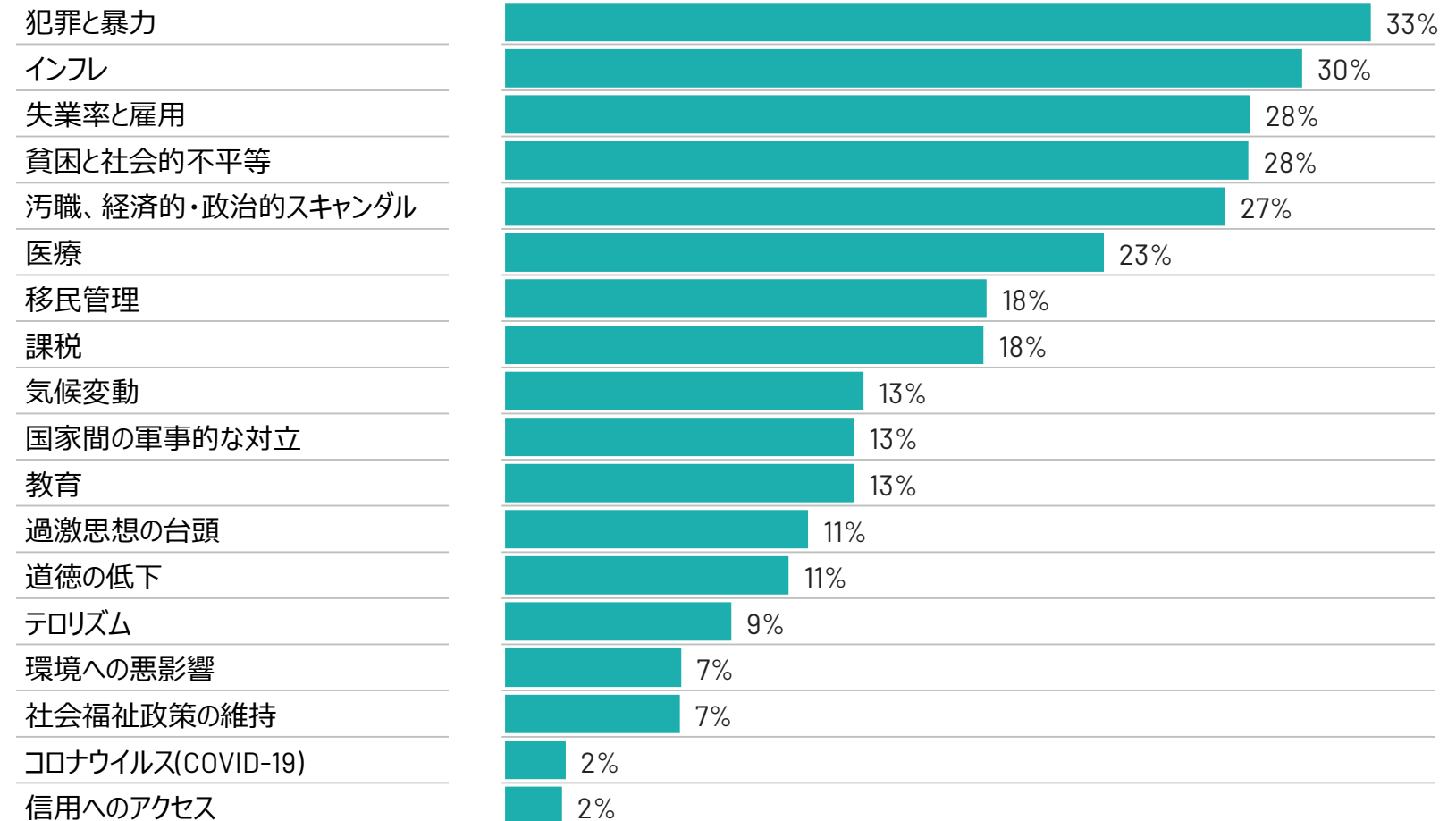
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター：国：世界 | 現在のウェーブ：2025年10月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

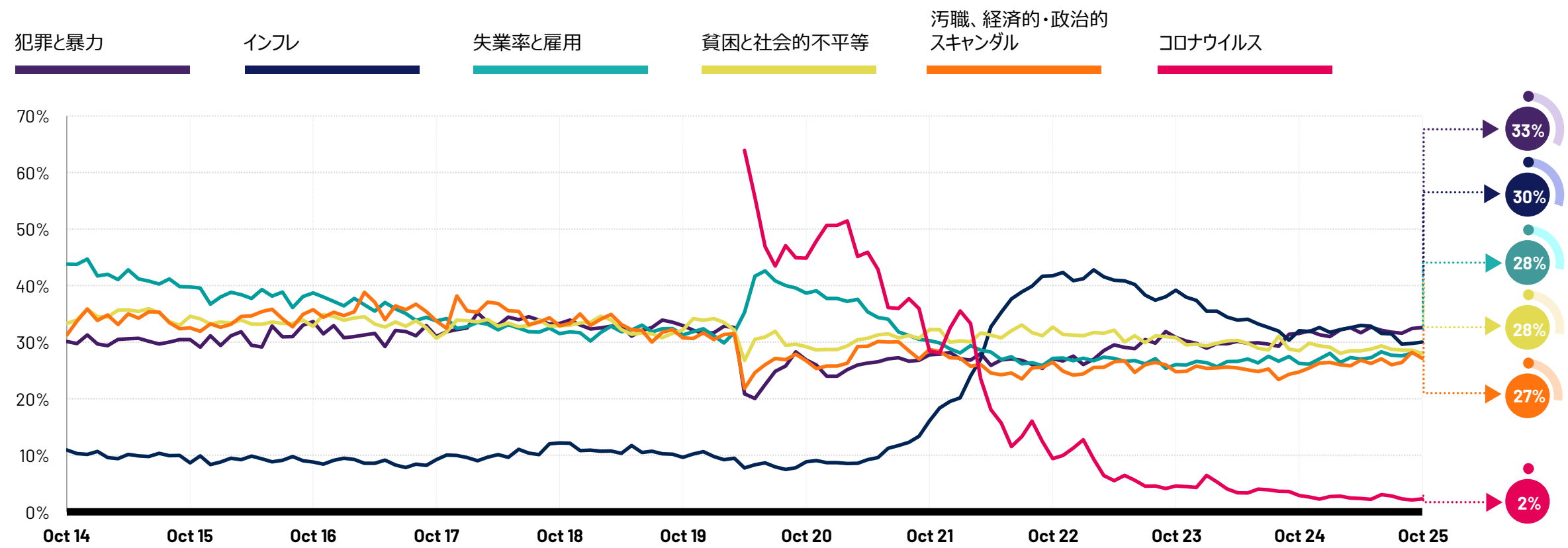
懸念事項

2025年10月の回答割合 (世界各国平均)



世界の懸念：長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。世界各国平均



対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月



1. 犯罪と暴力

30か国全体で、犯罪と暴力について懸念を表明する人の割合は3分の1(33%)で、これを最大の懸念事項として挙げる国が2か国増え、今月は9か国でトップとなりました。

ドイツでは、犯罪を最大の懸念事項と挙げる人の割合が前月より6ポイント上昇し、3分の1以上(35%)に達しました。これは昨年と同時期と比べて4ポイント増加しています。

同様に、メキシコでも懸念度は6ポイント上昇し、5分の3(59%)が心配していると回答しました。しかし、これはこの国では比較的通常の水準です。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

米国では懸念が前月より3ポイント上昇し、10人中3人(30%)となり、1年ぶりの高水準に達しました。2024年10月は32%を記録しました。

犯罪と暴力が最大の懸念事項となっている国:

- ペルー(68%)
- ブラジル(40%)
- チリ(63%)
- フランス(35%)
- スウェーデン(57%)
- ドイツ(35%)
- メキシコ(59%)
- ベルギー(33%)
- コロンビア(45%)

33%

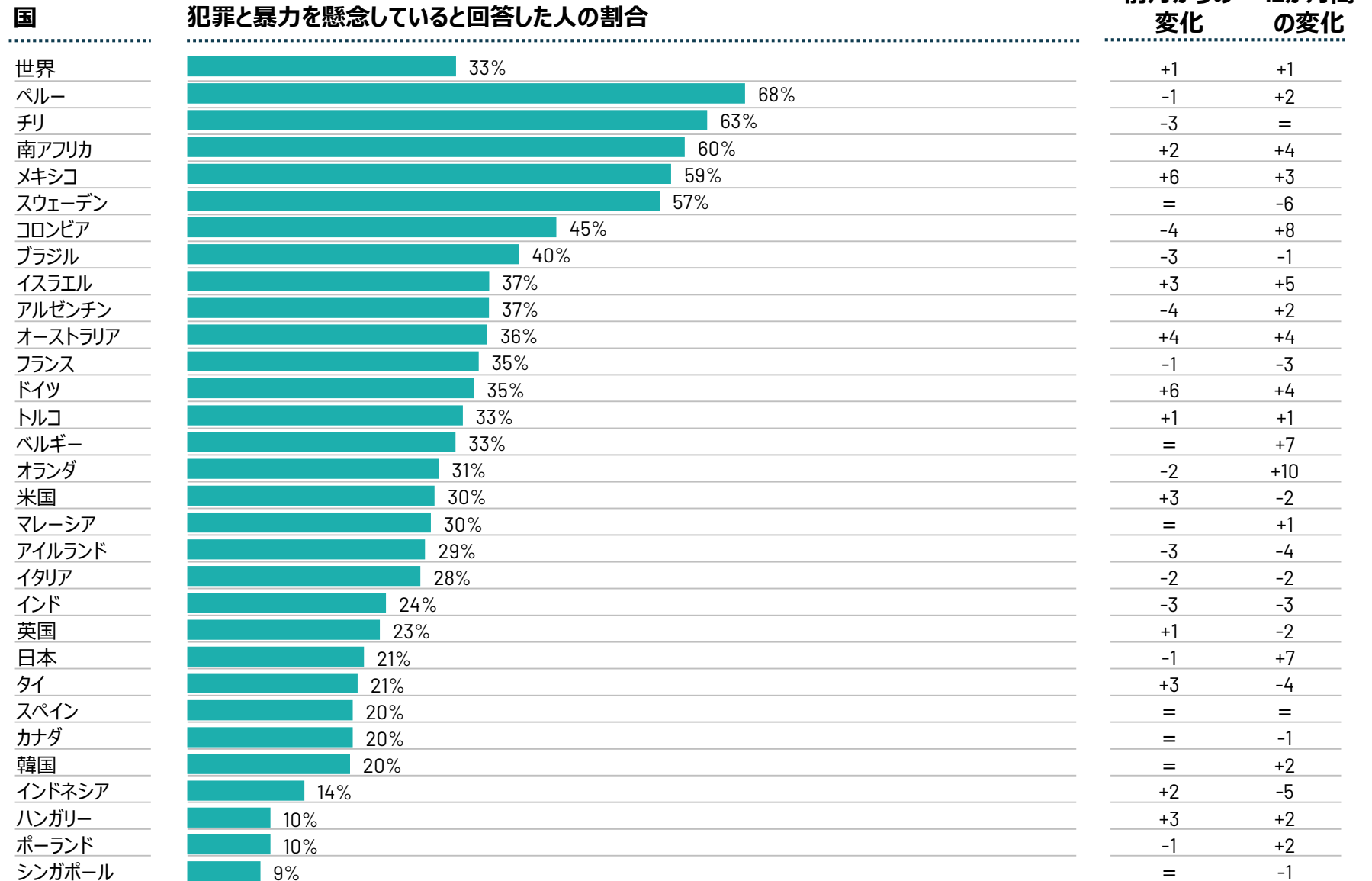
が、**犯罪と暴力**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

1. 犯罪と暴力

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月



2. インフレ

30か国全体でインフレに言及した割合は、依然として10人中3人(30%)です。参考までに、パンデミック前の2020年10月には9%でした。

米国では、価格上昇を懸念する人の割合が前月より5ポイント減少し、5分の2以下(37%)となりました。このスコアは去年の同時期より14ポイント低いです。これは2022年2月(34%)以来2番目に低いスコアです。最も低かったのは2025年7月(35%)でした。

一方、アイルランドではインフレに対する懸念が5ポイント上昇して39%となり、去年の同時期より11ポイント上昇しました。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30%

が、**インフレ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

インフレが最大の懸念事項となっている国:

- シンガポール(62%)
- 米国(37%)
- カナダ(49%)
- オーストラリア(40%)
- インド(46%)
- トルコ(46%)

2. インフレ

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

インフレを懸念していると回答した人の割合

国	インフレを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	30%	=	-2
シンガポール	62%	+3	+6
カナダ	49%	+3	-2
インド	46%	=	-1
トルコ	46%	=	-9
アルゼンチン	41%	+8	-5
オーストラリア	40%	+1	-7
アイルランド	39%	+5	+11
ハンガリー	39%	-2	+4
米国	37%	-5	-14
メキシコ	31%	-3	-1
英国	30%	-3	-3
日本	30%	=	+3
マレーシア	30%	+4	+5
韓国	30%	-1	-2
フランス	29%	-1	-4
ドイツ	28%	+1	+1
ポーランド	27%	+1	-9
スペイン	27%	-2	-2
ブラジル	26%	-3	+3
タイ	25%	+6	-5
チリ	24%	+2	-1
イタリア	22%	-5	-1
ベルギー	21%	-4	-4
南アフリカ	21%	=	-4
イスラエル	19%	+4	-6
スウェーデン	19%	+1	-2
コロンビア	17%	-2	-6
インドネシア	17%	+1	+2
オランダ	16%	=	-3
ペルー	11%	-1	-8

3. 失業率と雇用

30か国全体で失業について言及した割合は28%で前月から変わりありません。

失業を懸念していると答えたカナダ人の割合は、5ポイント増加し、4年ぶりの高水準に達しました。現在、10人中3人(30%)が心配しており、これは昨年同時期より10ポイント高く、2021年5月(同じく30%)以来の最高値となっています。

同様に、チリも懸念レベルが3ポイント上昇して45%となり、新たな高水準に達しました。これは2020年9月に50%を記録して以来、5年間で最高となります。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

28%

が、**失業率と雇用**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

失業率と雇用が最大の懸念事項となっている国:

- 南アフリカ(65%)
- アルゼンチン(49%)
- 韓国(44%)

3. 失業率と雇用

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

失業率と雇用を懸念していると回答した人の割合

世界

28%

南アフリカ

65%

シンガポール

53%

インドネシア

49%

アルゼンチン

49%

チリ

45%

韓国

44%

インド

39%

コロンビア

37%

メキシコ

36%

ペルー

34%

マレーシア

30%

カナダ

30%

スウェーデン

29%

イタリア

28%

トルコ

26%

スペイン

26%

タイ

24%

ベルギー

23%

アイルランド

20%

オーストラリア

20%

ポーランド

19%

ブラジル

17%

米国

16%

英国

16%

ハンガリー

14%

日本

14%

フランス

12%

イスラエル

11%

ドイツ

10%

オランダ

6%

前月からの
変化

12か月間
の変化

=

+2

=

-2

-3

+17

-5

-2

+3

+4

+3

+14

-3

+9

-1

-5

+3

-2

+1

+3

+1

-4

-3

-4

+5

+10

-2

+7

-5

=

=

+5

-2

-8

+5

=

+2

+5

=

+6

=

=

+2

-1

-2

-4

=

+2

+1

+3

+2

=

=

-3

+1

+4

-1

+1

-3

=

+1

+2

4. 貧困と社会的 不平等

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体で貧困と社会的不平等に言及する割合はわずかに減少して28%となりました。

トルコでは不平等に対する懸念が最も急激に高まり、それを指摘する人の割合が6ポイント増加してほぼ5分の2(38%)となりました。このスコアは去年の同時期より7ポイント高くなっています。

インドネシアのスコアは、2022年8月に調査に追加されて以来、過去最高を記録しました。3ポイント上昇し、半数強(53%)が、それが国家が直面する主要な課題の1つであると回答しました。

貧困と社会的不平等が最大の懸念事項となっている国:

- 日本(31%)

28%

が、**貧困と社会的不平等**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

4. 貧困と社会的 不平等

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

貧困と社会的不平等を懸念していると回答した人の割合

世界

28%

インドネシア

53%

アルゼンチン

39%

タイ

38%

トルコ

38%

ハンガリー

37%

ブラジル

33%

ペルー

33%

日本

31%

南アフリカ

30%

ドイツ

29%

フランス

29%

コロンビア

29%

マレーシア

29%

メキシコ

29%

ベルギー

28%

イタリア

27%

アイルランド

25%

オーストラリア

24%

オランダ

24%

スウェーデン

23%

スペイン

23%

英国

23%

チリ

22%

韓国

22%

インド

21%

カナダ

21%

シンガポール

21%

米国

20%

イスラエル

20%

ポーランド

18%

前月からの
変化

12か月間
の変化

-1

=

+3

+7

-4

-5

+5

-6

+6

+7

-9

-4

-1

+2

+2

+2

=

-2

=

=

=

+4

+2

+4

-3

+1

-3

-2

+1

+1

+1

-5

=

+2

-4

-4

-2

-3

+1

-8

=

+4

=

-1

-3

-4

-4

-7

-1

+3

+1

+1

-5

-4

+3

+3

+5

+4

-1

-2

-5

-1

5. 汚職、経済的 または政治的 スキャンダル

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体で、汚職、経済的または政治的スキャンダルに言及する割合はわずかに減少して27%となっています。

ペルー国民の汚職への懸念は3ポイント上昇し、60%となり、過去最高を記録しました。これは昨年10月のスコアより11ポイント上昇し、2019年11月(63%)以来の最高値です。

同様に、ブラジルでも懸念を表明したブラジル人の割合がわずかに増加して39%となり、不安は新たな高水準に達しました。これは5年ぶりの高水準で、2020年6月も39%を記録しました。

汚職、経済的または政治的スキャンダルが最大の懸念事項となっている国:

- インドネシア(68%) • スペイン(36%)
- マレーシア(54%)
- タイ(43%)

27%

が、**汚職、経済的または政治的スキャンダル**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

5. 汚職、経済的 または政治的 スキャンダル

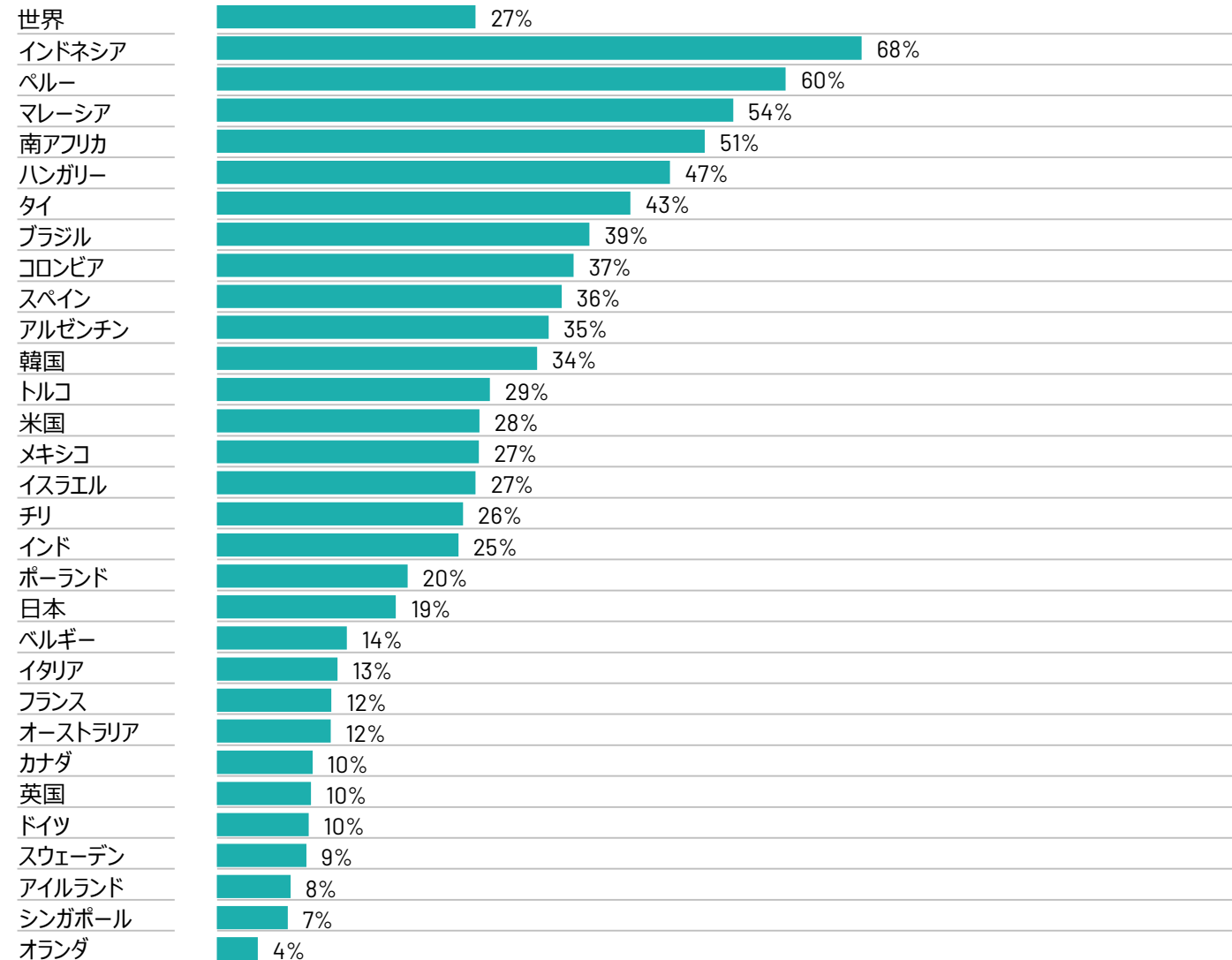
対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か
国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルス
コアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

汚職、経済的または政治的スキャンダルを懸念していると回答した人の割合



前月からの 変化	12か月間 の変化
-1	+2
-4	+15
+3	+11
-5	+7
+3	+10
-9	-3
-8	+2
+1	+14
+2	-2
=	+12
-1	+15
+1	-1
=	+7
+1	+12
-4	+6
-6	+4
-8	-8
=	+1
-1	-12
+2	-3
+3	+1
+2	=
-1	+4
+1	+1
=	-2
+2	-4
+1	=
-1	-3
-1	-4
=	-3
-4	-3

6. 医療

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

医療を懸念していると回答した人の割合

国	医療を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	23%	=	-1
ハンガリー	63%	=	-2
アイルランド	41%	+3	-3
ポーランド	37%	-4	+2
カナダ	37%	-1	-1
イタリア	35%	+1	+2
ブラジル	33%	=	-6
英国	31%	-3	-10
スペイン	30%	+3	-1
コロンビア	29%	+2	+10
シンガポール	27%	-3	-3
オーストラリア	27%	-4	-4
スウェーデン	25%	+2	+2
オランダ	25%	-3	-9
米国	24%	-1	+2
フランス	24%	-2	-2
メキシコ	22%	+2	+5
ベルギー	21%	=	+7
ドイツ	20%	=	+1
アルゼンチン	18%	+2	+5
チリ	15%	-1	+2
ペルー	13%	-2	-2
インド	12%	-1	-1
南アフリカ	12%	-2	-3
日本	11%	+1	=
イスラエル	10%	+1	+5
マレーシア	9%	-1	=
タイ	7%	-1	-1
韓国	6%	-1	-28
インドネシア	6%	+2	=
トルコ	5%	=	+1

7. 移民管理

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

今月も30か国全体で移民管理に言及する割合は18%のままです。

英国人の移民管理に対する懸念のレベルは今月、それを指摘する割合が4ポイント増加して44%となり、新たな水準に達しました。これは2024年10月より11ポイント高く、同じく44%だった2016年6月(ブレグジット国民投票が行われた同月同年)以来の最高値です。

地球の反対側では、懸念を表明するオーストラリア人の割合が4ポイント上昇して25%となり、これは2019年4月(26%)以来の最高値となりました。

移民管理が最大の懸念事項となっている国:

- 英国(44%)

18%

が、**移民管理**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

7. 移民管理

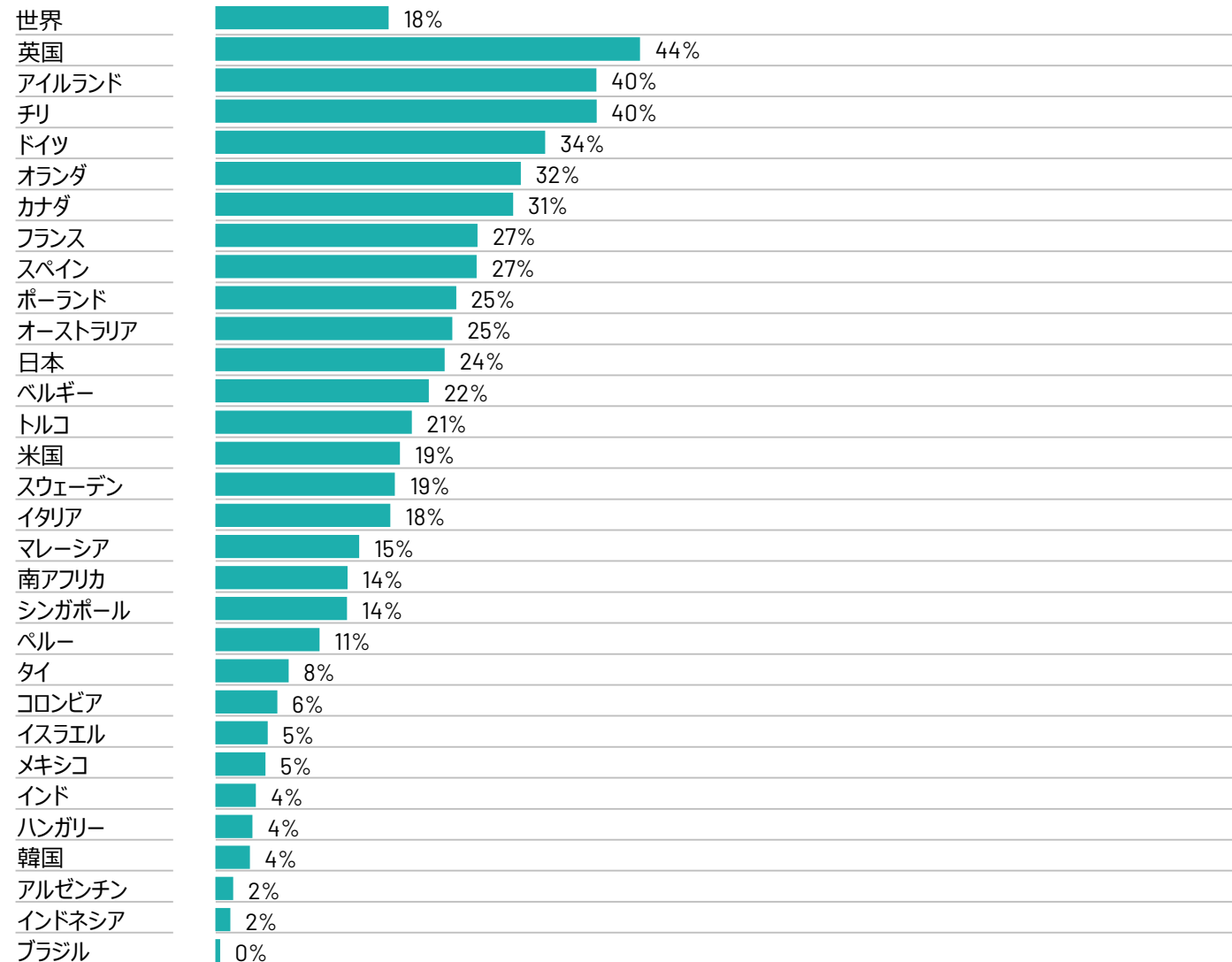
対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

移民管理を懸念していると回答した人の割合



前月からの
変化

12か月間の
変化

=	-1
+4	+11
+4	+1
+2	=
-1	-8
-4	-2
+3	+4
=	-3
+1	-1
+2	+6
+4	+3
=	+13
-3	-7
+2	-14
-3	-13
+1	+2
-1	=
+4	+3
-2	-1
-3	-2
+2	=
=	=
+1	-2
+1	=
-1	=
=	=
=	-4
=	+2
-1	-1
+1	-1
-1	-2

8. 課税

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

課税を懸念していると回答した人の割合

国	課税を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	18%	-1	+1
ベルギー	32%	-2	-3
日本	29%	-2	+1
ブラジル	29%	+1	+9
イタリア	26%	-2	+1
インドネシア	26%	-9	+14
カナダ	25%	+3	=
フランス	23%	-5	+1
インド	22%	+1	+4
メキシコ	21%	+3	+9
マレーシア	20%	+2	+10
コロンビア	19%	=	+2
英国	19%	-2	-4
アルゼンチン	19%	+3	-6
オーストラリア	18%	+1	+2
ポーランド	17%	-3	-4
スペイン	17%	-3	-3
シンガポール	16%	=	-6
トルコ	16%	-2	-1
韓国	16%	-2	+2
イスラエル	16%	-4	-6
アイルランド	15%	+2	=
米国	15%	-6	-1
ドイツ	14%	+1	+2
スウェーデン	12%	+3	=
タイ	11%	-2	+2
オランダ	11%	-4	-5
チリ	10%	+2	+1
南アフリカ	10%	-1	+1
ハンガリー	8%	=	+1
ペルー	5%	+1	+2

9. 気候変動

今年10月、気候変動に言及する割合はわずかに減少して13%となり、2024年10月のスコアより4ポイント低下しました。これは2022年4月(14%)以来の最低スコアです。2025年5月も13%を記録しました。

気候変動の詳細については、[「懸念スポットライト: 気候変動」](#)をご覧ください。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

13%

が、**気候変動**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

気候変動が最大の懸念事項となっている国:

なし

9. 気候変動

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

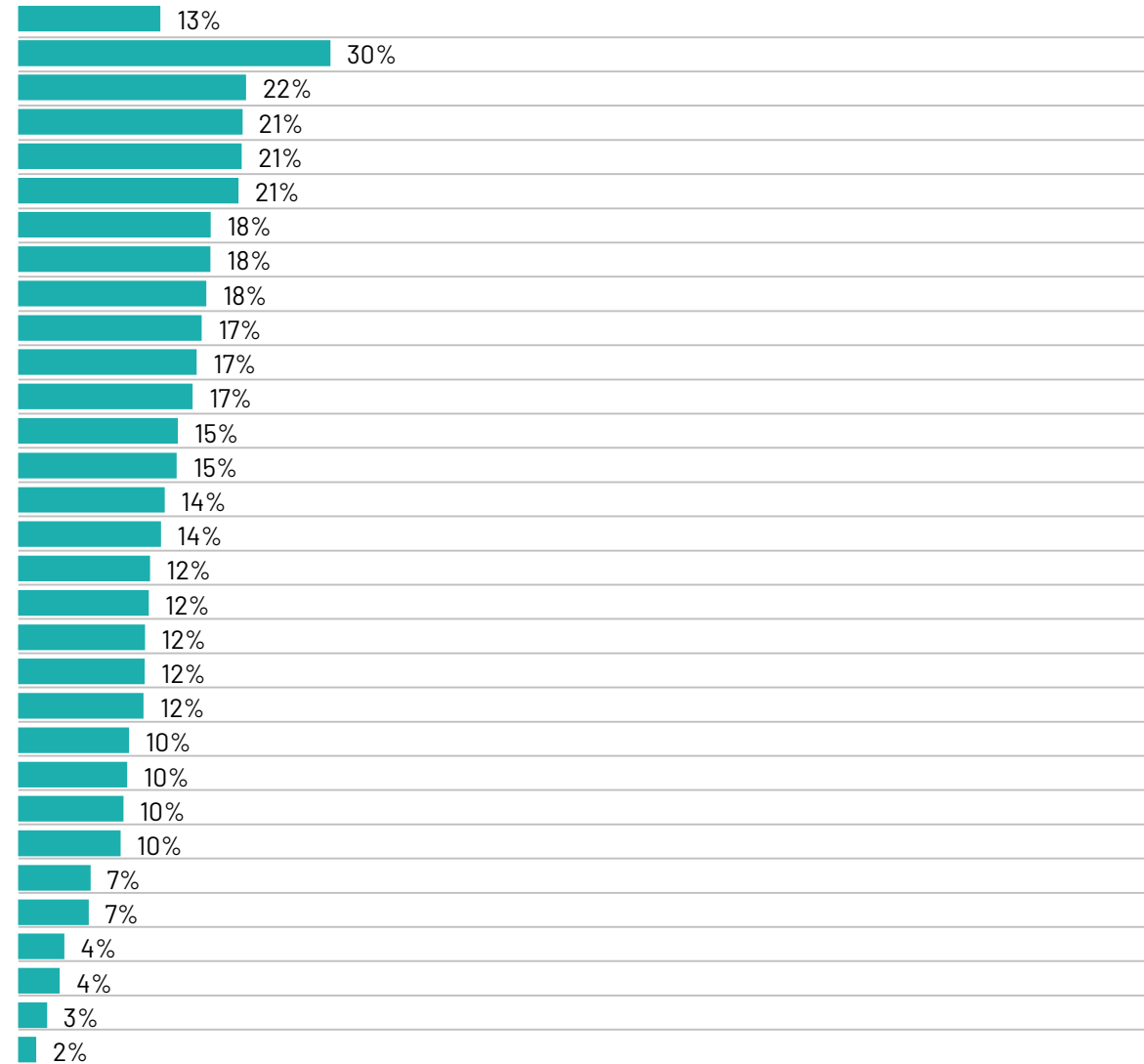
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

気候変動を懸念していると回答した人の割合

世界
日本
韓国
シンガポール
オランダ
オーストラリア
カナダ
イタリア
ドイツ
タイ
ポーランド
フランス
英国
スペイン
アイルランド
スウェーデン
ベルギー
ブラジル
メキシコ
米国
トルコ
インドネシア
マレーシア
南アフリカ
インド
ハンガリー
コロンビア
ペルー
チリ
アルゼンチン
イスラエル



前月からの 変化	12か月間の 変化
-1	-4
-3	-5
-3	+1
-1	-7
-3	-6
-2	-1
-5	-3
-1	-7
-1	-6
+2	-9
+1	+3
-1	-4
-5	-6
-3	-2
-1	-2
-2	-5
-2	-8
+3	-9
-1	-5
-3	-11
-1	+3
+4	-5
+3	-1
+5	-3
+2	+1
+1	=
-1	-12
-3	-3
-1	-2
=	-2
-1	+1

10. 国家間の軍事的な対立

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体では、国家間の軍事的な対立に言及する割合がわずかに上昇して13%となり、昨年10月より3ポイント上昇しました。なお、この項目の調査は2022年4月に開始され、今回の実査はイスラエルとガザの停戦合意前に完了しました。

再び、ヨーロッパ全土で懸念が高まっています。最も顕著なのはポーランドで、これを指摘したポーランド人の割合が7ポイント増加し、ポーランドで最高となる46%に達しました。

私たちのリストにあるヨーロッパの国のうち、1か国(懸念は先月と同程度)を除くすべてで、何らかの増加が見られました。

同様に、米国でも、心配していると答えた人の割合は5ポイント増加しましたが、13%という比較的低い水準にとどまりました。

国家間の軍事的な対立が最大の懸念事項となっている国々:

- ポーランド(46%)

13%

が、**国家間の軍事的な対立**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

10. 国家間の軍事的な対立

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

国家間の軍事的な対立を懸念していると回答した人の割合

国	国家間の軍事的な対立を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	13%	+2	+3
ポーランド	46%	+7	+18
イスラエル	37%	+3	-10
タイ	36%	-5	+31
ドイツ	27%	+4	+6
オランダ	25%	+6	+7
イタリア	22%	+9	+6
スウェーデン	19%	+5	+7
フランス	18%	+3	+7
ベルギー	16%	+2	+6
英国	15%	=	+5
スペイン	14%	+6	+6
米国	13%	+5	+2
韓国	12%	=	+1
アイルランド	11%	+2	+7
日本	11%	+1	-6
シンガポール	9%	=	+2
オーストラリア	9%	-1	+2
ハンガリー	6%	+1	-1
カナダ	6%	-1	+1
インド	6%	-1	+1
コロンビア	5%	-2	+1
マレーシア	5%	=	-3
メキシコ	5%	+2	-1
インドネシア	4%	+2	=
ブラジル	4%	-1	+2
トルコ	4%	+1	+1
チリ	2%	=	+1
アルゼンチン	2%	=	=
南アフリカ	2%	=	+1
ペルー	2%	-1	+1

11. 教育

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

教育を懸念していると回答した人の割合

国	教育を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	13%	-1	-1
アルゼンチン	28%	-2	-1
インド	28%	=	+4
ペルー	25%	+5	+6
ハンガリー	22%	+2	-6
イスラエル	21%	-4	+8
メキシコ	20%	+1	-5
ブラジル	20%	=	-3
チリ	18%	+6	=
ベルギー	18%	+1	+1
トルコ	17%	-6	-5
コロンビア	15%	+2	-2
インドネシア	13%	=	-3
マレーシア	12%	-2	=
オランダ	12%	-2	-3
スペイン	12%	=	-2
南アフリカ	11%	+1	-3
フランス	10%	-2	-3
カナダ	10%	=	+1
ドイツ	9%	-1	=
米国	9%	-3	-1
オーストラリア	9%	-1	=
イタリア	8%	-2	-1
シンガポール	8%	-1	+3
ポーランド	6%	-2	-3
アイルランド	6%	-2	-4
スウェーデン	6%	-1	=
韓国	6%	-1	-1
タイ	5%	-3	-5
英国	5%	-2	-2
日本	5%	=	-2

12. 過激思想の台頭

30か国全体では、過激主義に対する懸念を表明する人の割合がわずかに増加して11%となりました。

過激思想の台頭は現在、オランダ人にとって最大の懸念事項であり、移民管理に関する懸念(32%)を上回っています。懸念は11ポイント急上昇し、3分の1(33%)が心配していると回答しました。これは、オランダが2019年10月に調査対象になって以来、最高値です。

ロンドンで最大規模の極右デモが行われた後に、英国での懸念も高まり、9ポイント上昇して23%となり、2018年4月(同じく23%)以来の最高値となりました。

他のヨーロッパ諸国では、フランス(+5、19%)やスペイン(+3、17%)などの増加が見られました。

しかし、この問題は他の場所でも発生しているようです。例えば、オーストラリアでは7ポイント上昇して18%(8年ぶりの高水準)、米国ではわずかに上昇して20%(4年ぶりの高水準)、韓国では6ポイント上昇して19%となっています。

過激思想の台頭が最も懸念される国:

- オランダ(33%)

11%

が、**過激思想の台頭**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

12. 過激思想の台頭

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

過激思想の台頭を懸念していると回答した人の割合

国	過激思想の台頭を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	11%	+1	+2
オランダ	33%	+11	+16
英国	23%	+9	+12
米国	20%	+2	+3
イスラエル	20%	=	-1
フランス	19%	+5	+5
ドイツ	19%	+5	-1
韓国	19%	+6	+11
オーストラリア	18%	+7	+9
スウェーデン	17%	+1	+4
スペイン	17%	+3	+3
ポーランド	15%	-1	+6
アイルランド	15%	-1	-2
ベルギー	14%	=	-3
カナダ	12%	+3	+3
ブラジル	12%	+3	+6
イタリア	9%	+3	+2
マレーシア	9%	=	-4
日本	8%	+2	+4
シンガポール	7%	+1	+3
チリ	6%	+1	+2
トルコ	5%	=	=
コロンビア	5%	+1	-1
インド	5%	=	=
アルゼンチン	4%	+1	=
ハンガリー	4%	+2	=
ペルー	2%	-2	+1
メキシコ	2%	-1	-2
インドネシア	2%	=	-1
タイ	2%	=	-1
南アフリカ	1%	=	=

13. 道徳の低下

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

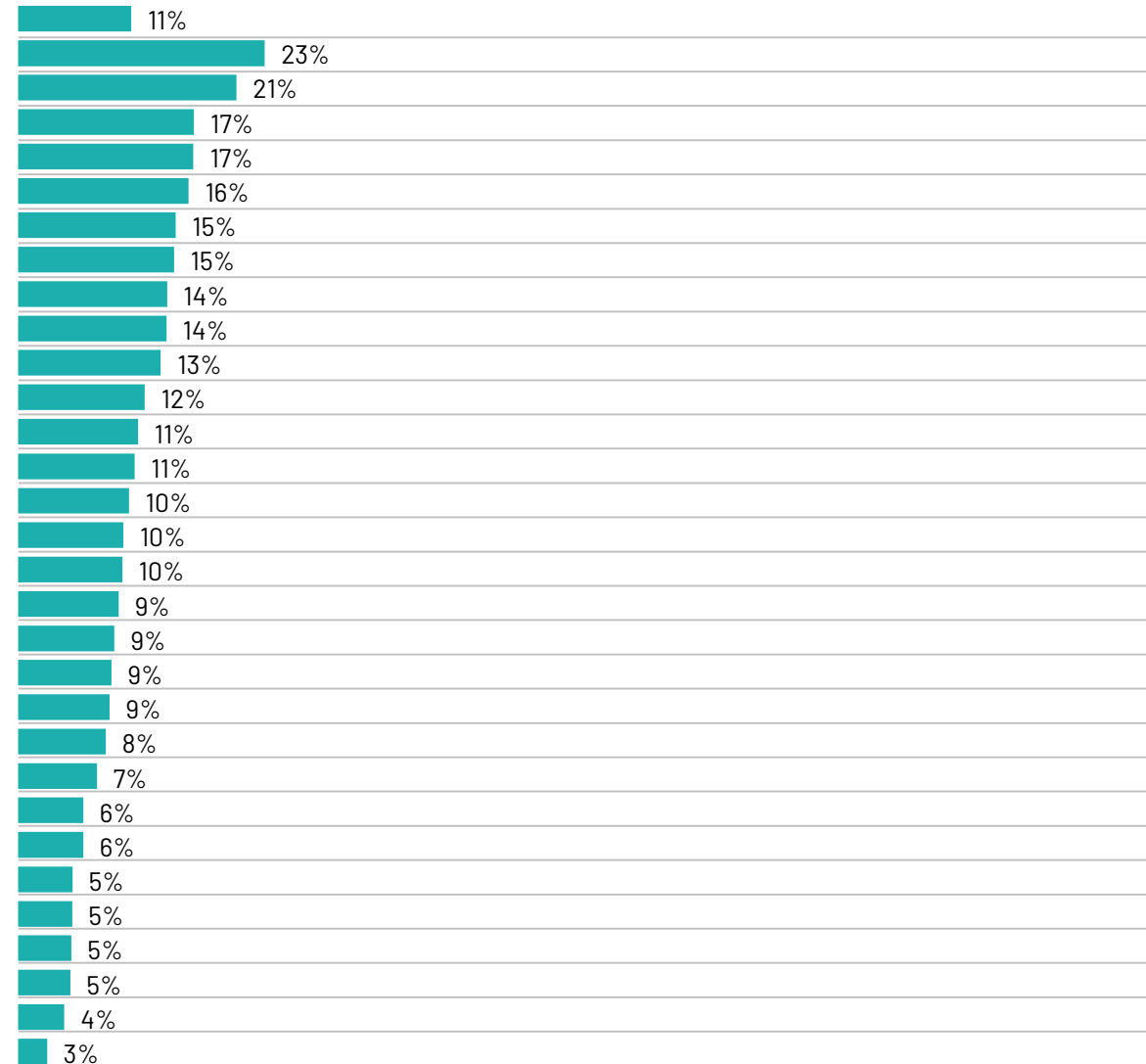
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

道徳の低下を懸念していると回答した人の割合

世界
オランダ
米国
タイ
韓国
イスラエル
日本
フランス
英国
マレーシア
ハンガリー
ドイツ
イタリア
ポーランド
オーストラリア
トルコ
シンガポール
スウェーデン
アルゼンチン
カナダ
インドネシア
ベルギー
スペイン
アイルランド
メキシコ
ペルー
インド
ブラジル
コロンビア
チリ
南アフリカ



前月からの
変化

12か月間の
変化

=	+1
+1	+7
+5	+8
-1	-2
+1	=
-1	+6
=	=
+3	+5
+1	+5
-2	+1
-1	+5
+1	+2
+1	+2
-1	+1
-2	=
-5	+2
-2	=
-1	+1
=	+1
+2	=
=	-7
-1	-2
-1	=
-2	-1
-1	-2
-3	+1
=	-2
+1	+1
=	-2
-2	-2
=	+1

14. テロリズム

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国	テロリズムを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	9%	+1	=
イスラエル	45%	+6	-3
コロンビア	27%	-4	+11
インド	23%	+4	+6
ペルー	12%	=	-4
トルコ	12%	+3	-7
フランス	10%	+1	-5
スウェーデン	10%	=	-1
ドイツ	9%	-1	-4
米国	8%	-1	=
マレーシア	8%	-1	-3
英国	8%	+2	+3
メキシコ	8%	+3	+1
ベルギー	8%	+1	-1
チリ	7%	+1	-1
オランダ	7%	+1	+1
タイ	7%	-2	+2
ポーランド	6%	=	+2
イタリア	5%	+2	+1
アイルランド	4%	-1	-3
シンガポール	4%	=	-5
オーストラリア	4%	-1	=
韓国	4%	+2	+2
スペイン	3%	-1	-1
ブラジル	3%	+1	+1
インドネシア	3%	+1	-4
ハンガリー	3%	+3	+2
アルゼンチン	2%	=	=
日本	2%	-1	=
カナダ	1%	-2	-2
南アフリカ	1%	-1	=

15. 環境への悪影響

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

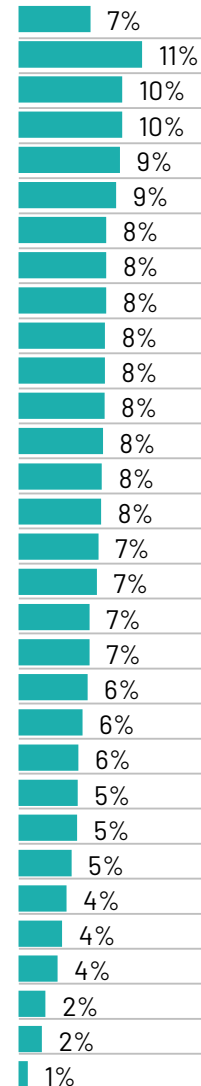
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

環境への悪影響を懸念していると回答した人の割合

世界
ブラジル
韓国
スウェーデン
オーストラリア
フランス
タイ
オランダ
日本
ポーランド
米国
マレーシア
ドイツ
インド
ベルギー
シンガポール
ペルー
英国
コロンビア
イタリア
トルコ
インドネシア
メキシコ
スペイン
アイルランド
カナダ
ハンガリー
イスラエル
チリ
南アフリカ
アルゼンチン



前月からの 変化	12か月間の 変化
=	-2
=	-12
=	=
=	=
-1	=
+2	-2
+1	-3
-7	-4
=	-4
=	-2
+2	+2
+4	=
=	-1
-1	-1
+3	-2
+1	-4
-1	-4
-2	=
=	-4
-2	-5
+1	+2
+2	-6
-3	-4
=	=
=	=
-3	-1
+1	+1
=	-3
-1	-3
-3	=
=	-4

16. 社会福祉政策の維持

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国	社会福祉政策の維持を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	7%	=	=
韓国	17%	+3	+3
日本	15%	+1	-2
スウェーデン	14%	-3	-3
スペイン	10%	+1	+1
インドネシア	10%	=	-1
イタリア	9%	=	-1
オランダ	9%	+1	=
ベルギー	9%	+1	+3
ドイツ	9%	-2	+4
タイ	8%	-3	-1
アイルランド	8%	+1	+2
米国	8%	+1	+4
英国	7%	-1	-2
ハンガリー	7%	=	=
オーストラリア	5%	-2	-3
ポーランド	5%	+1	-2
カナダ	5%	=	=
シンガポール	5%	=	-4
アルゼンチン	4%	-1	-1
チリ	4%	=	+1
フランス	4%	-2	=
マレーシア	4%	+1	-1
メキシコ	4%	-3	-1
インド	4%	=	+1
ブラジル	3%	=	=
コロンビア	3%	=	=
イスラエル	3%	=	=
トルコ	2%	=	+1
南アフリカ	2%	=	-1
ペルー	1%	-2	-1

17. コロナウイルス (COVID-19)

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

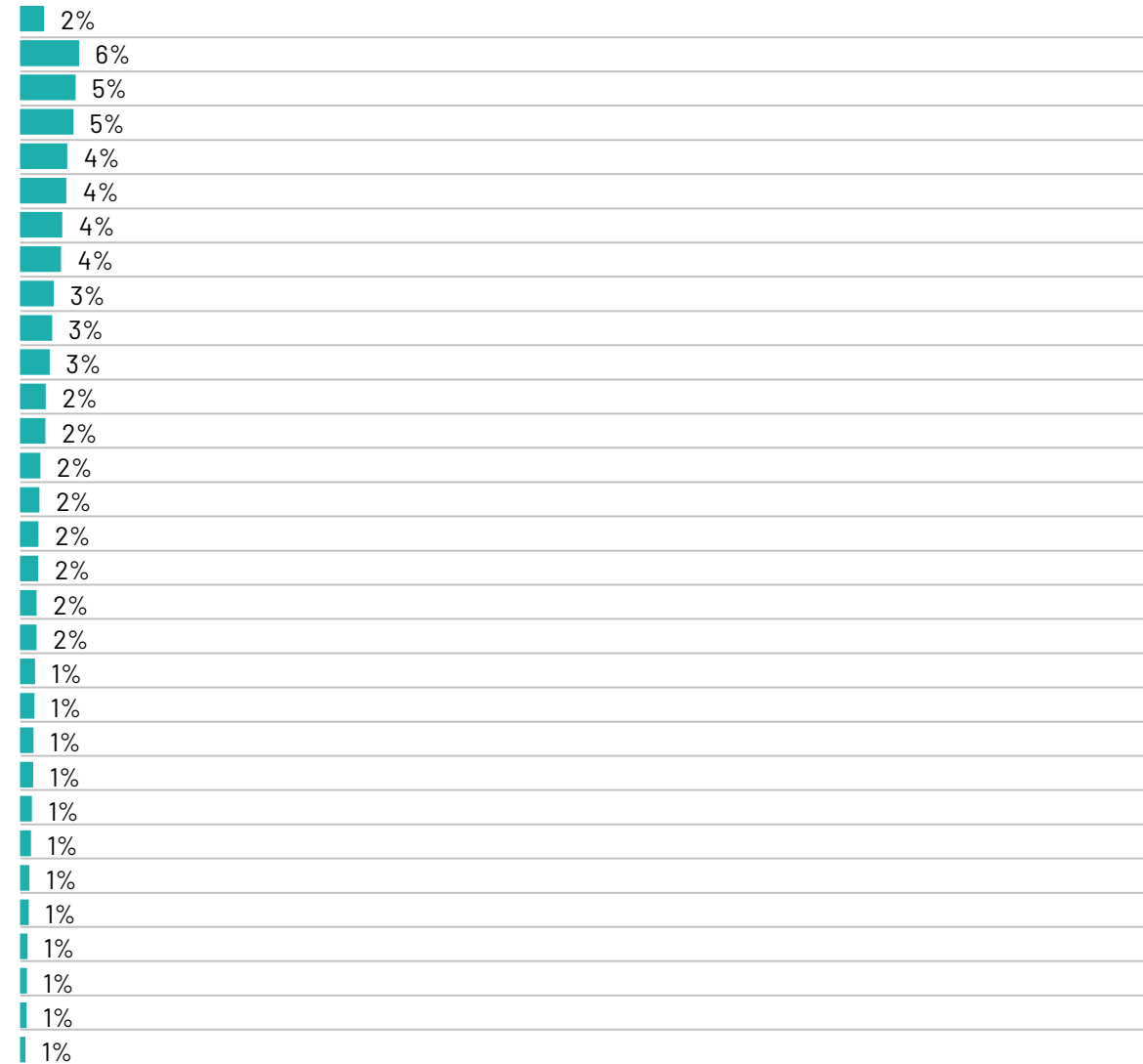
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国

コロナウイルス(COVID-19)を懸念していると回答した人の割合

世界
タイ
インド
マレーシア
シンガポール
トルコ
韓国
インドネシア
日本
ポーランド
メキシコ
アイルランド
米国
ペルー
ブラジル
ハンガリー
オーストラリア
イタリア
ベルギー
スペイン
オランダ
英国
コロンビア
スウェーデン
カナダ
チリ
ドイツ
南アフリカ
アルゼンチン
フランス
イスラエル



前月からの 変化	12か月間 の変化
=	-1
+1	=
+1	-1
+1	-5
+1	-1
=	+1
+1	+1
+2	=
-2	-2
+2	=
+2	-4
-1	=
=	-1
+1	+1
=	-1
+1	+1
-2	-2
+1	=
-1	+1
-1	=
+1	-1
=	-1
+1	=
-1	=
-1	-2
=	-1
-1	-1
=	=
+1	=
=	-1
=	=

18. 信用へのアクセス

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国	信用へのアクセスを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	■ 2%	=	=
インド	■ 4%	=	-1
タイ	■ 4%	+1	+1
スペイン	■ 3%	+1	=
ハンガリー	■ 3%	+1	+1
アルゼンチン	■ 3%	-2	+1
ポーランド	■ 3%	+1	-2
チリ	■ 3%	+2	+1
トルコ	■ 3%	+1	=
アイルランド	■ 3%	+1	+1
スウェーデン	■ 3%	+1	+1
イタリア	■ 3%	+1	+1
ベルギー	■ 3%	+1	+1
韓国	■ 2%	-1	-1
オーストラリア	■ 2%	-1	-1
マレーシア	■ 2%	=	-1
カナダ	■ 2%	-1	-1
南アフリカ	■ 2%	=	+1
ブラジル	■ 2%	=	=
インドネシア	■ 2%	+1	+1
英国	■ 2%	+1	+1
コロンビア	■ 2%	=	+1
フランス	■ 2%	+1	+1
米国	■ 1%	-1	=
日本	■ 1%	-1	-1
シンガポール	■ 1%	-2	=
ペルー	■ 1%	-1	-1
オランダ	■ 1%	=	-1
ドイツ	■ 1%	=	=
メキシコ	■ 1%	-2	-1
イスラエル	■ 1%	=	=

経済フォーカス

自国の経済状況

イプソスの**世界が懸念していること調査**と並び、毎月実施されている**世界消費者信頼感調査**は、30か国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳細については、
Emilios.Louca@ipsos.com
までお問い合わせください。

現在の経済状況

10月には、わずか6か国で過半数が自国の現在の経済状況は良好だと考えています。最も肯定的な上位3か国はすべてアジアにあります(シンガポール 76%、インド 73%、マレーシア 69%)。

しかし、すべてのアジア諸国が同様に肯定的というわけではなく、日本ではこの感情は11%まで低下しています。フランスだけが、経済の好調スコアが9%とこれより低い結果となっています。

一方、アルゼンチンでは、2024年を通じて力強い上昇を見せたものの、その好景気スコアはピークを過ぎたようです。今月のスコアは、2025年1

月の最高値37%から13ポイント低下しました。

経済を最も懸念している上位国:

- フランス(91%が「悪い」状態だと回答)
- 日本(89%)
- ハンガリー(79%)
- ペルー(77%)
- アルゼンチン(76%)

13pp

アルゼンチンの好景気スコアは、2025年1月のピークから13ポイント低下しました。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

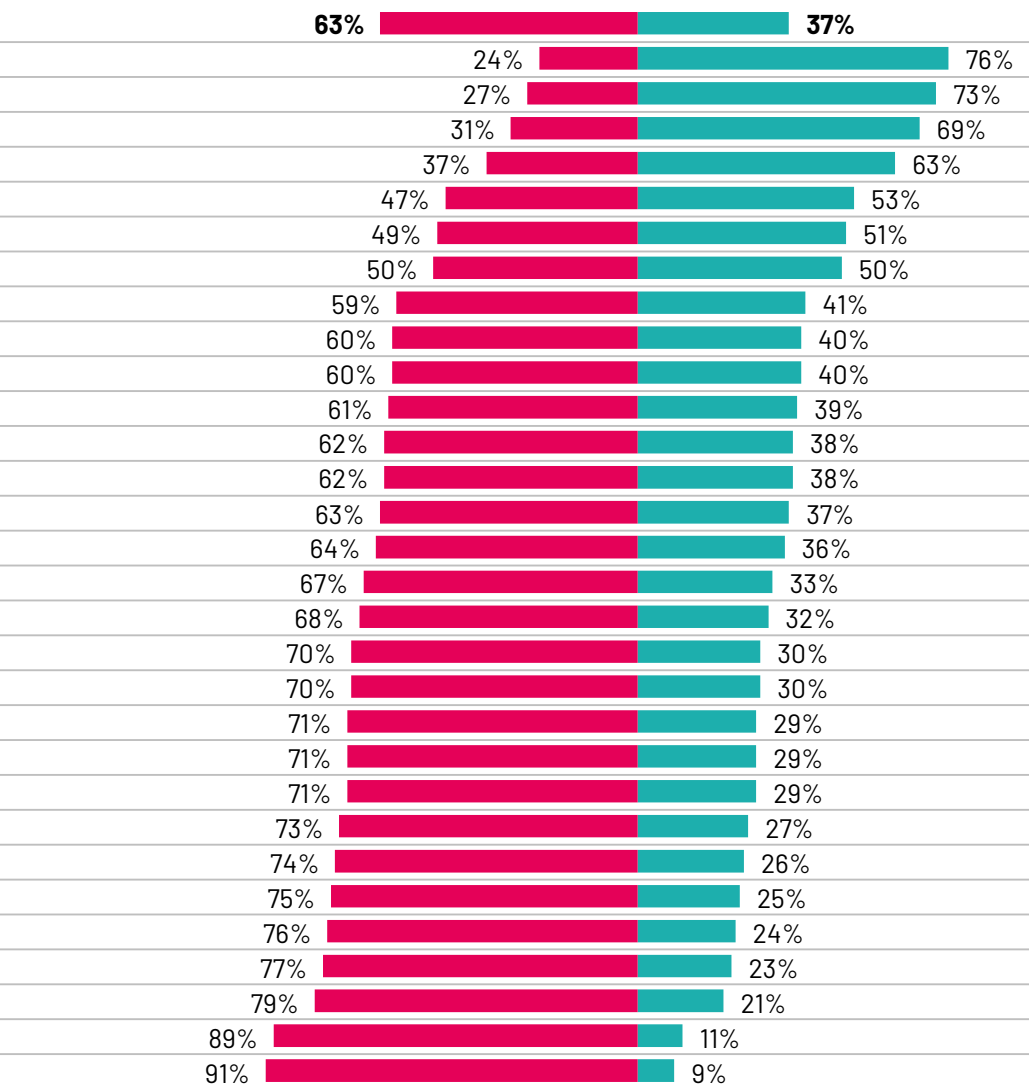
出典: イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

現在の経済状況

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

国
世界
シンガポール
インド
マレーシア
オランダ
アイルランド
ポーランド
オーストラリア
米国
インドネシア
スウェーデン
スペイン
タイ
メキシコ
イスラエル
ブラジル
チリ
カナダ
ドイツ
ベルギー
コロンビア
韓国
イタリア
英国
トルコ
南アフリカ
アルゼンチン
ペルー
ハンガリー
日本
フランス

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



良い 悪い

前月からの 変化	12か月間の 変化
-1	-2
-3	-3
-2	-10
+5	-3
+4	+2
=	-7
+4	+5
-5	+6
-2	=
+12	-17
-1	-2
+3	+1
+5	-6
-1	-8
+1	+4
-1	-2
+3	+4
-6	-2
-5	-6
-8	-10
-1	+2
=	+10
-3	-2
=	-1
+1	+6
-4	-13
-5	+6
=	+4
+6	+2
-2	-5
-1	-7

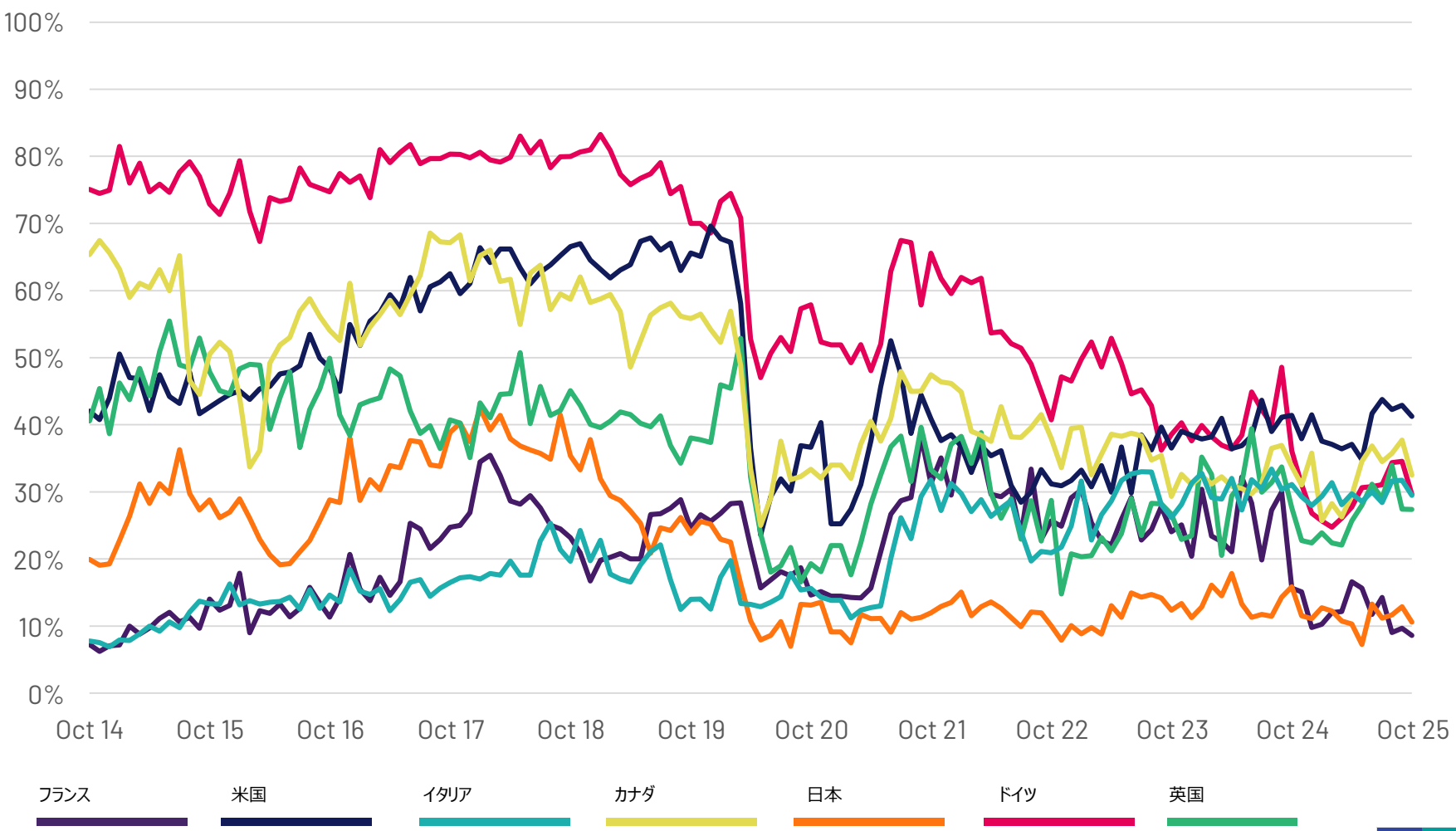


現在の経済状況

G7
%「とても良い」または「やや良い」

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

米国

%「とても良い」または「やや良い」

米国は、好景気スコアが41%と、調査対象となった30か国の中で8番目に高いスコアを獲得しました。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

カナダ

%「とても良い」または「やや良い」

カナダの好景気スコアは今月6ポイント下落し、過去最低(2020年5月の25%)よりわずか7ポイント高い水準となっています。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

ドイツ

%「とても良い」または「やや良い」

2025年2月の連邦選挙後、継続的に上昇していたドイツの経済スコアは、今月は5ポイント低下しました。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

イタリア

%「とても良い」または「やや良い」

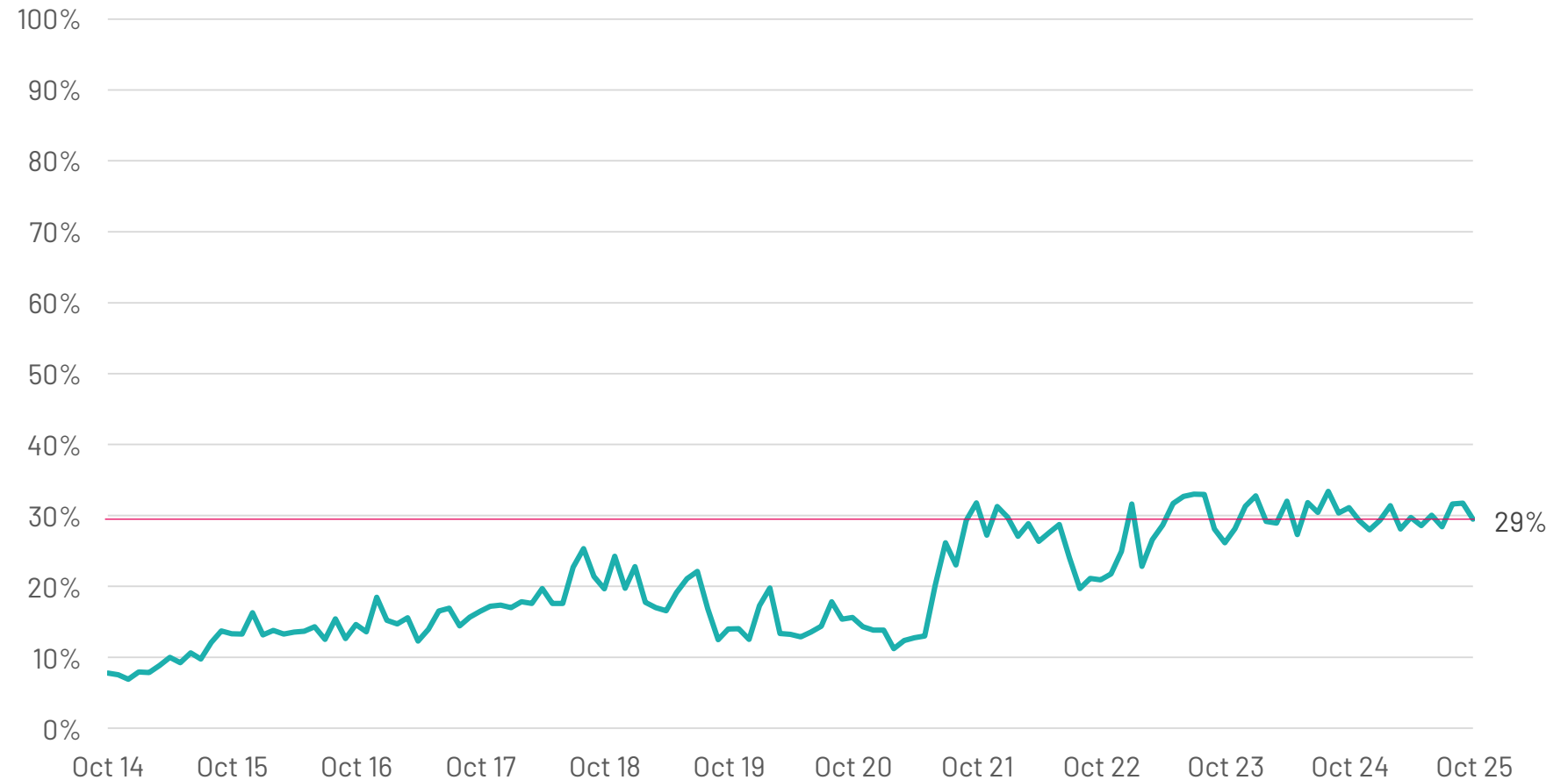
イタリアは、前月より3ポイント低下したものの、国の経済状況に関する認識に関しては、当社の調査で最も安定した国の一つであり続けています。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

英国

%「とても良い」または「やや良い」

英国の好景気スコアは、新型コロナウイルス感染症のパンデミック以前(2020年3月は53%)以来、40%を超えていません。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

日本

%「とても良い」または「やや良い」

日本の好景気スコアは2020年2月(22%)以来20%を超えていません。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

フランス

%「とても良い」または「やや良い」

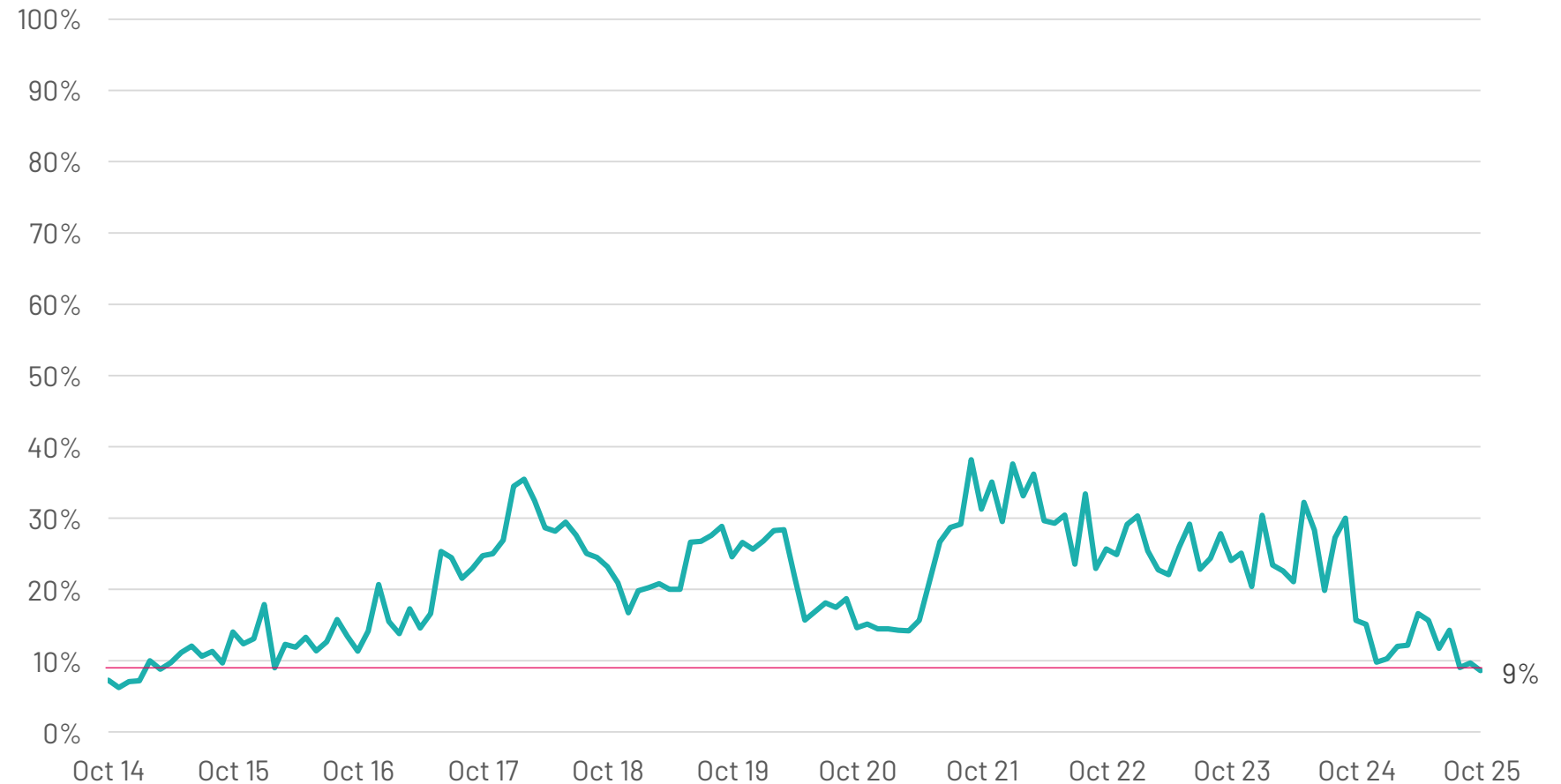
フランスは好景気スコア9%と、ランキング最下位を維持しました。フランスのスコアは2024年9月(30%)以来30%を下回っています。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

アルゼンチン

%「とても良い」または「やや良い」

2024年を通じて力強い上昇を見せたアルゼンチンの好景気スコアは、ピークを過ぎた可能性があります。今月のスコアは、2025年1月の最高値37%から13ポイント低下しました。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

チリ

%「とても良い」または「やや良い」

チリの良い経済スコアは、2022年7月の直近の最低14%以来、着実に上昇しています。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

インド

%「とても良い」または「やや良い」

インドは依然として自国の経済について2番目に楽観的な国にランクされていますが、過去12か月間でその感情は低下しています。今月の好景気スコアは、昨年同時期(2024年10月の83%)より10ポイント低下しました。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

メキシコ

%「とても良い」または「やや良い」

メキシコの好景気スコアは、2020年7月(12%)以降着実に上昇していましたが、2024年5月(58%)以降は低下傾向にあります。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

南アフリカ

%「とても良い」または「やや良い」

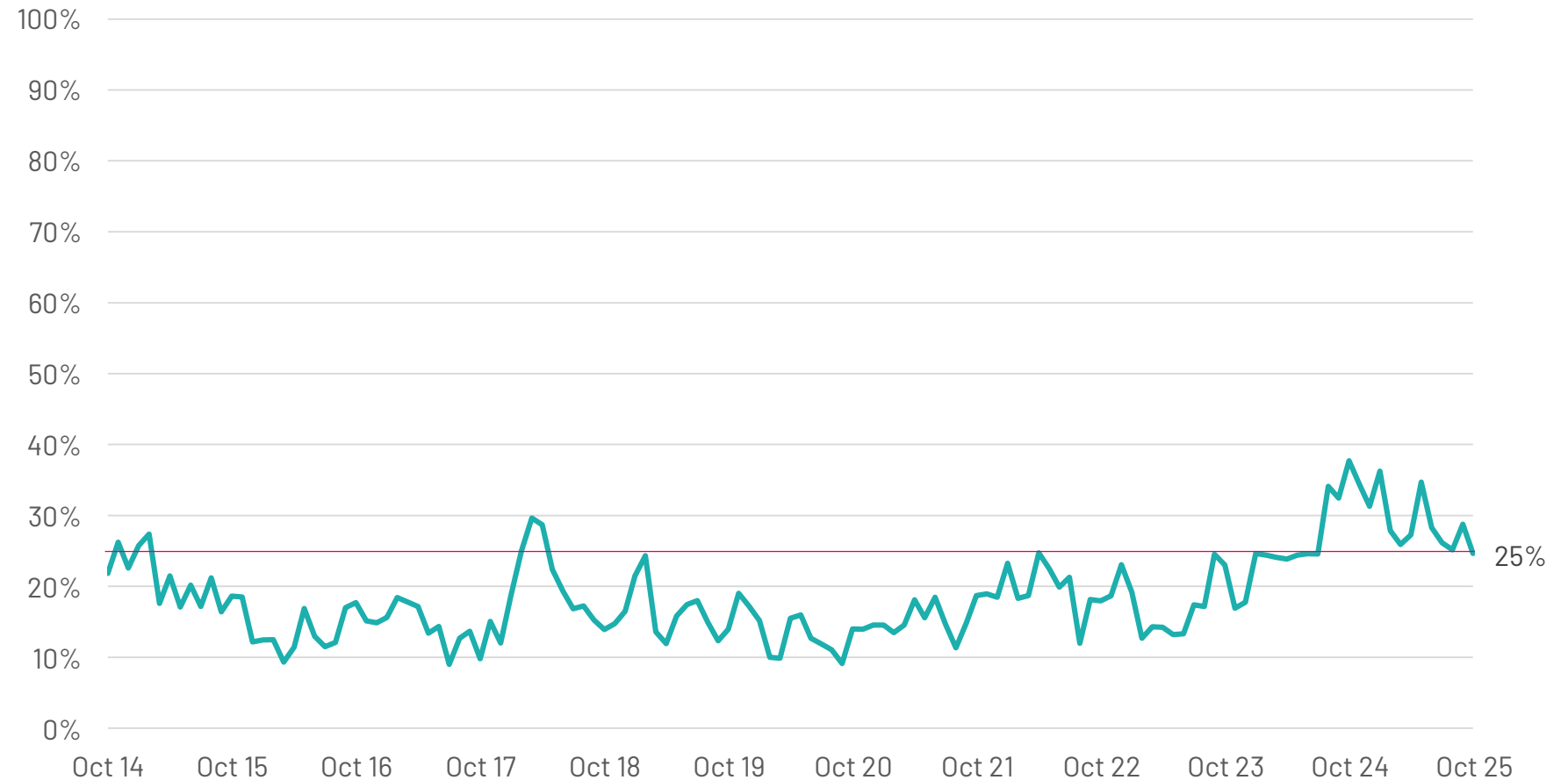
昨年の同時期より13ポイント下がったにもかかわらず、南アフリカの好景気スコアは近年と比べると依然として高い水準を維持しています。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

韓国

%「とても良い」または「やや良い」

韓国の好景気スコアは、8月の6ポイント上昇に続き、高水準を維持しています。

対象: 2025年9月19日～2025年10月3日、参加30か国の16～74歳の25,589人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年10月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



調査手法

この30か国グローバルアドバイザー調査は、イプソスオンラインパネルシステムを通じて、2025年9月19日から2025年10月3日までの間に、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、インドネシアとタイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳までの成人500人を対象に実施されました。

「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国における平均的な結果を反映しています。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、全体的な結果を示すことを意図したものではありません。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、アイルランド、日本、スペイン、スウェーデン、米国の各国で約1,000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、イスラエル、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各国で約500人以上で構成されています。

インドのサンプルは約2,200人で構成され、のうち約1,800人が対面で調査を受け、400人がオンラインで調査を受けました。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、これらの国の75歳未満の一般成人人口の代表として考えることができます。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口よりも都市部に住み、教育水準が高く、裕福です。これらの市場の調査結果は、これらの人口の中でもデジタル接続性の高いよりコネクテッドな層の意見を反映しているものと捉えられます。

インドのサンプルは、都市部の人口の大部分、つまり大都市圏の社会経済階級A、B、Cと、全4ゾーンのTier 1-3の都市の階級を代表しています。

人口統計のバランスを取り、サンプルの構成が最新の国勢調査データによる成人人口の構成を反映するようにするために、重み付けが採用されています。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、信頼区間を使用して計算され、1,000件の世論調査では ± 3.5 パーセントポイントの精度、500件の世論調査では ± 5.0 パーセントポイントの精度となります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのウェブサイトをご覧ください。

結果の合計が100にならない場合、または「差」が実際より ± 1 多い/少ないように見える場合は、四捨五入、複数回答、または「わからない」または未回答の回答の除外が原因である可能性があります。

これらの調査結果の公表は現地の規則および規制に従って行われます。



THANK YOU

CONTACT:

Joseph.Nadler@ipsos.com

VISIT:

ipsos.com